




Dell 27/32 4K USB-Cハブモニター - U2723QX/U2723QE/U3223QE ユーザーガイド

モデル: U2723QX/U2723QE/U3223QE
規制モデル: U2723QE+U3223QE+



-  **注釈:**注釈には、コンピュータをより有効に使用するために役立つ重要な情報が示されています。
-  **注意:**注意には、指示に従わなかった場合に起こり得るハードウェアへの損傷またはデータの損失が示されています。
-  **警告:**警告には、物的損害、身体への傷害、または死亡の可能性が示されています。

Copyright © 2022-2023 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。 Dell、EMC およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。USB Type-C®とUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 安全に関する注意事項 | 6 |
| モニターについて | 7 |
| パッケージの内容 | 7 |
| 製品の特徴 | 8 |
| 部品とコントロールを識別する | 10 |
| 前面図 | 10 |
| 背面図 | 11 |
| 底面図 | 12 |
| モニターの仕様 | 14 |
| 解像度の仕様 | 16 |
| プリセット表示モード | 16 |
| DP マルチストリームトランスポート (MST) モード | 17 |
| USB-C マルチストリームトランスポート (MST) モード | 17 |
| 電氣的仕様 | 18 |
| 物理的特徴 | 19 |
| 環境特性 | 21 |
| ピンの割当 | 22 |
| プラグアンドプレイ | 30 |
| LCD モニターの品質とピクセルポリシー | 30 |
| メンテナンスガイドライン | 31 |
| モニターのお手入れ | 31 |
| モニターを設置する | 32 |
| スタンドを取り付ける | 32 |
| 傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する | 35 |



| | |
|--|-----------|
| 傾斜、回転、垂直延長調整機能 | 35 |
| ディスプレイを回転させる | 36 |
| 回転後にコンピュータのディスプレイ設定を構成する. | 37 |
| ケーブルを整理する | 38 |
| モニターを接続する | 39 |
| Dell電源ボタン同期 (DPBS) | 43 |
| DPBS用の初回時の接続. | 45 |
| DPBS機能を使用する | 46 |
| USB-Cマルチストリームトランスポート (MST) 機能用のモニターの接続 | 48 |
| USB-C用のモニターの接続 | 49 |
| Kensington ロックを使用してモニターを固定する (オプション) | 51 |
| モニタースタンドを取り外す | 52 |
| 壁取り付け (オプション) | 53 |
| モニターを操作する | 54 |
| モニターの電源を入れる. | 54 |
| ジョイスティックコントロールを使う | 54 |
| メニューランチャーを使用する. | 55 |
| フロント-パネルボタン | 57 |
| メインメニューを使用する | 58 |
| OSDロック機能を使用する | 75 |
| 初期設定. | 78 |
| OSD 警告メッセージ | 79 |
| 最大解像度を設定する. | 82 |
| マルチモニター同期 (MMS) | 83 |
| マルチモニター同期 (MMS) の設定 | 84 |
| KVM USBスイッチの設定 | 85 |
| 自動KVMの設定 | 88 |



| | |
|--------------------------------|-----------|
| トラブルシューティング | 90 |
| セルフテスト | 90 |
| 内蔵されている診断機能 | 91 |
| よくある問題 | 92 |
| 製品に固有の問題 | 94 |
| ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題 | 97 |
| 付録 | 98 |
| FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報 | 98 |
| Dell へのお問い合わせ | 98 |
| エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース | 98 |



安全に関する注意事項

⚠ **警告:** 本文書に指定されている記述以外の操作、調整、または手順をおこなった場合、衝撃や電氣的危険、および/または機械的危険にさらされる可能性があります。

- ・ モニターは硬い表面に置き、取り扱いには注意してください。画面は壊れやすく、落としたり激しい打撃を受けたりすると損傷する可能性があります。
- ・ モニターが、お住まいの地域で使用する AC 電源で動作するように、定格電圧になっていることを常に確認してください。
- ・ モニターは室温で保管してください。過度な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- ・ モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。例えば、モニターを車のトランクに置くことはしないでください。
- ・ 長期にわたってモニターを使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- ・ 感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。



安全に関する注意事項については、モニターに付属の安全、環境、規制に関する情報 (SERI) 文書を参照してください。



モニターについて






パッケージの内容

モニターには、以下の表に示されているコンポーネントが同梱されています。不足しているコンポーネントがある場合は、Dell にお問い合わせください。詳細については [Dellへのお問い合わせ](#) をご覧下さい。

-  **注釈:** 一部のコンポーネントはオプションであり、モニターに同梱されていない場合があります。国によっては、ご使用いただけない機能もあります。
-  **注釈:** 他で購入したスタンドと接続する場合、スタンドに付属するセットアップ手順に従ってください。

| | |
|---|---|
|  | ディスプレイ |
|  | スタンドライザー |
|  | スタンドベース |
|  | 電源ケーブル (国によって異なります) |
|  | DisplayPort ケーブル (DisplayPort から DisplayPort) (U2723QE/U3223QEのみ) |
|  | USB-C ケーブル (A - C) |



| | |
|---|---|
|  | USB-C ケーブル (C - C) |
|  | HDMI ケーブル (U2723QXのみ) |
|    | <ul style="list-style-type: none"> ・クイックセットアップガイド ・安全、環境および規制に関する情報 ・出荷時校正レポート |

製品の特徴

Dell U2723QX/U2723QE/U3223QE フラットパネルディスプレイは、アクティブマトリクス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、LED バックライトを有します。モニターの特徴は次のとおりです。

- **U2723QX/U2723QE:** 68.47cm (27.0インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 3840 x 2160 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- **U3223QE:** 80.01cm (31.5インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 3840 x 2160 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- ・ 平均デルタE < 2、100% sRGB、Rec.709、98% DCI-P3カラーの広視野角。
- ・ 傾斜、回転、ピボット、垂直延長調整機能。
- ・ 取り外しできる台座スタンドと、Video Electronics Standards Association (VESA™) の100mm取り付け穴が柔軟な取り付けを実現。
- ・ 超薄型ベゼルにより、マルチモニター使用時に生じるベゼルの隙間を最小限に抑えて設置を容易にし、エレガントな視聴を実現します。
- ・ DP を使った広範囲にわたるデジタル接続が可能であるため、モニターを将来長く使用できます。
- ・ シングル USB-C が、映像およびデータ信号を受信しながら、互換ノートパソコンに電源を供給。
- ・ USB-C および RJ45 ポートにより、1本のケーブルでネットワーク接続体験が可能です。



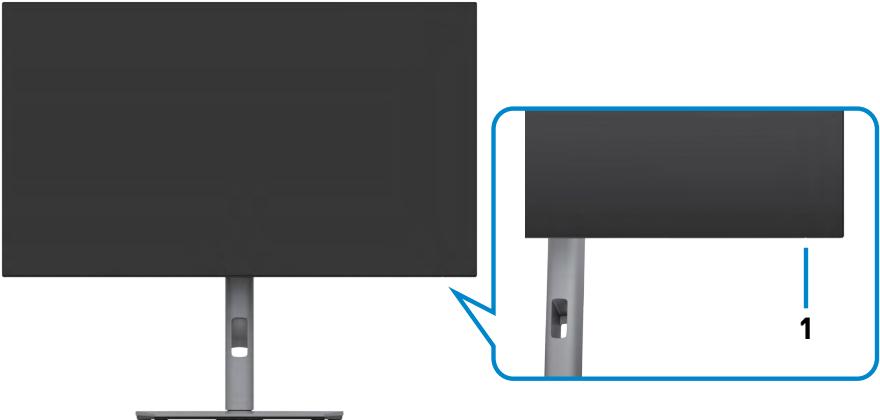
- ・ コンピュータが対応している場合、プラグアンドプレイ機能をサポート。
- ・ セットアップと画面の最適化を容易にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- ・ 電源ボタンと OSD ボタンのロック機能。
- ・ セキュリティ固定スロット。
- ・ オフモードで $\leq 0.3\text{ W}$ 。
- ・ ピクチャー・バイ・ピクチャー (PBP) とピクチャー・イン・ピクチャー (PIP) の選択モードをサポート。
- ・ ユーザーは PBP モードの USB KVM 機能を切り替えられます。
- ・ モニターには、Dell 電源ボタン同期 (DPBS) 機能が組み込まれており、モニターの電源ボタンから PC システムの電源状態を操作できます。*
- ・ モニターでは マルチモニター同期 (MMS) を使用して、DisplayPort を介してデジタイゼーション接続された複数台のモニターを、事前に定義済みの OSD 設定グループにバックグラウンドで同期できます。
- ・ 安心を提供するプレミアムパネル交換。
- ・ フリッカフリーの画面とブルーライト低減機能で有害なブルーライト放射を最小限に抑え、目の疲れを最小化。
- ・ モニターには低ブルーライトパネルを採用。工場出荷時の状態にリセット/デフォルト設定モデル (プリセットモード: 標準) は TUV Rheinland (Hardware Solution) に適合しています。
- ・ 目がより快適な状態で視聴できるように、画面から放出される危険なブルーライト量を減らします。
- ・ モニターには目に見えるちらつきを解消するフリッカーフリー技術が採用されており、快適に視聴することができ、目の疲れや疲労を防ぎます。
- * DPBS をサポートする PC システムは、Dell OptiPlex 7090/3090 Ultra プラットフォームとなります。

⚠ 警告：モニターからの長時間にわたるブルーライトの放出により、目の疲労やデジタル眼精疲労など、目の損傷が生じることがあります。ComfortView Plus 機能は、モニターから放出されるブルーライト量を減らして、目の快適さを最大限に保つように設計されています。



部品とコントロールを識別する

前面図



| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|-------------|---|
| 1 | 電源LEDインジケータ | ライトが白く点灯した場合、モニターの電源が入っており、正常に機能していることを示しています。白く点滅した場合には、モニターがスタンバイモードであることを示しています。 |



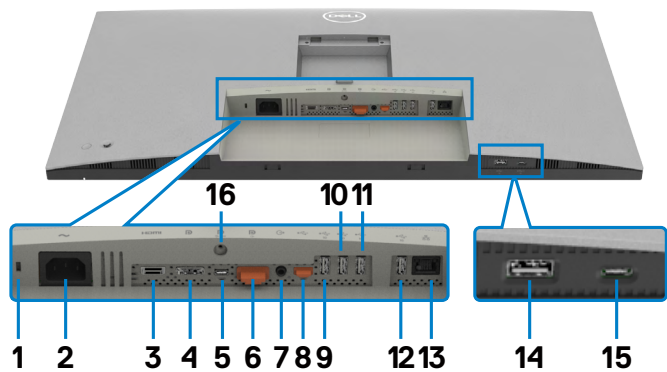
背面図









| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|---|---|
| 1 | VESA マウント用穴 (100 mm x 100 mm - 取り付けられた VESA カバーの後ろ) | VESA に対応した壁取り付けキット (100 mm x 100 mm) を使用して壁に取り付けたモニター。 |
| 2 | 規制ラベル | 規制当局からの認可をリスト表示します。 |
| 3 | スタンドリリースボタン | モニターからスタンドを外します。 |
| 4 | 電源オン/オフボタン | モニターのオン・オフを切り替えます。 |
| 5 | ジョイスティック | OSD メニューの操作に使用します。 詳細については、 モニターを操作する を参照してください。 |
| 6 | Mac アドレス、バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル | Dell にテクニカルサポートを要請する際にはこのラベルを参照します。サービスタグは一意の英数字識別子であり、Dell のサービス技術者側でご利用のコンピュータ内のハードウェアコンポーネントを識別し、保証情報にアクセスできるようにするためのものです。 |
| 7 | ケーブル管理スロット | ケーブルは、このスロットに通してまとめます。 |











底面図



| ラベル | 説明 | 使用 |
|-----|--|--|
| 1 | セキュリティ固定スロット | モニターをセキュリティケーブルロックで固定します (別売)。 |
| 2 |  電源コネクタ | 電源ケーブルを接続します。 |
| 3 |  HDMI ポート | コンピュータを HDMI ケーブルを使用して接続します。 |
| 4 |  DPコネクタ (イン) | コンピュータの DP ケーブルを接続してください。 |
| 5 |  USB-C (ビデオ + データ) | USB-C ケーブルを使用して、コンピュータに接続します。USB-C ポートは、最高の転送速度を提供し、DP 1.4を用いる代替モードは、60Hz において 3840 x 2160 の解像度を実現し、また、PD 20V/4.5A、15V/3A、9V/3A、5V/3A を提供します。 注意: USB タイプ C は、Windows 10 より前のバージョンの Windows ではサポートされていません。 |
| 6 |  DPコネクタ (アウト)  | MST (マルチストリームトランスポート)対応モニター用の DP出力。MSTを有効にするには、「 DP MST機能用モニターを接続する 」セクションの取扱説明を参照してください。 注意: ディスプレイポート出力コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。 |



| | | |
|----------------------|--|---|
| 7 |  オーディオライン 出力ポート | HDMI または DisplayPort 音声チャンネルを介して、スピーカーを再生オーディオに接続します。 2 チャンネル オーディオのみサポートします。 注釈: オーディオライン出力ポートはヘッドフォンに対応していません。 |
| 8 |  USB-C アップス トリーム  | USB ケーブルを使用して、コンピュータを接続します (C 対 A または C 対 C)。 ケーブルを接続後、モニターで USB ダウンストリームコネクタを使用できるようになります。 注意: USB-C コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。 |
| 9,10, 11,12 14 |  Super speed USB 10Gbps (USB 3.2 Gen2) (5) | USB デバイスを接続します。これらのポートは、コンピュータからモニターに USB ケーブル (A 対 C または C 対 C) を接続した後にのみ使用できます。 Port with  バッテリーアイコン付きのポートは、バッテリー充電 Rev.1.2 をサポートしています。 |
| 13 |  RJ-45 コネクター | インターネットに接続します。コンピュータからモニターに USB ケーブル (A 対 C または C 対 C) を接続した後にのみ、RJ45 経由でインターネットを閲覧できます。 |
| 15 |  USB-C ダウンス トリームポート |  アイコンが付いたポートは 5V/3A に対応します。 USB デバイスを接続します。これらのポートは、コンピュータからモニターに USB ケーブル (A 対 C または C 対 C) を接続した後にのみ使用できます。 |
| 16 | スタンドロック | M3 x 6 mm ネジを使用してスタンドをモニターに固定します (ネジは同梱されていません)。 |



モニターの仕様

| モデル | U2723QX/U2723QE | U3223QE |
|----------------------|---|---|
| 画面タイプ | Active matrix - TFT LCD | |
| パネルタイプ | 面内切替技術 | |
| アスペクト比 | 16:9 | |
| 表示可能な画像寸法 | | |
| 対角線 | 68.47 cm (27 インチ) | 80.01 cm (31.5 インチ) |
| アクティブエリア | | |
| 水平 | 596.74 mm (23.49 インチ) | 697.31 mm (27.45 インチ) |
| 垂直 | 335.66 mm (13.22 インチ) | 392.23 mm (15.44 インチ) |
| エリア | 200301.74 mm ² (310.47 インチ ²) | 273505.90 mm ² (423.83 インチ ²) |
| ピクセルピッチ | 0.1554 mm x 0.1554 mm | 0.18159 mm x 0.18159 mm |
| 1 インチあたりのピクセル数 (PPI) | 163.18 | 137.68 |
| 視野角 | | |
| 水平 | 178° (標準) | |
| 垂直 | 178° (標準) | |
| 輝度 | 400 cd/m ² (標準) | |
| コントラスト比 | 2000 対 1 (標準) | |
| ディスプレイ画面のコーティング | フロント偏光子 (3H) ハードコーティングをアンチグレア処理 | |
| バックライト | LED | |
| 応答時間 (グレーからグレー) | 5 ms (高速モード) 8 ms (ノーマルモード) | |
| 色深度 | 10 億 7,000 万色 | |
| 色域 * | 100% sRGB 100% Rec. 709 98% DCI-P3 | |
| 校正精度 | デルタ E < 2 (平均) (sRGB, Rec. 709, DCI-P3) | |



| | | | |
|--|---|-----------|--|
| 接続性 | ・1 x DP 1.4、DSCサポート (HDCP 2.2) ・1 x DP (出力) ・1 x HDMI 2.0 (HDCP 2.2) ・1 x USB-C (DP1.4 (HDCP 2.2)、DSCサポート、PD: 90W、2/4レーン切換) アップストリーム ・1 x USB-C (USB 3.2 Gen2, 10 Gbps KVM)アップストリームポート ・1 x アナログ 2.0 オーディオライン出力 (3.5mm ジャック) ・4 x USB-A (USB 3.2 Gen2, 10 Gbps) ・1 x RJ45 クイックアクセス： ・1 x USB-A (USB 3.2 Gen2, 10Gbps)でのBC 1.2 備えた ・1 x USB-C (USB 3.2 Gen2, 10Gbps, 15W)ダウンストリームポート | | |
| 境界線の幅 (モニターの端からアクティブエリアまで) | | | |
| 上部 | 7.35 mm | 7.65 mm | |
| 左右 | 7.35 mm | 7.65 mm | |
| 下部 | 10.00 mm | 10.15 mm | |
| 調整機能 | | | |
| 高さを調節できるスタンド | 150.00 mm | | |
| 傾斜 | -5°～ 21° | | |
| 回転 | -45°～ 45° | -30°～ 30° | |
| ピボット | -90°～ 90° | | |
| ケーブル管理 | はい | | |
| Dell ディスプレイマネージャー (DDM: Dell Display Manager)との互換性 | 簡単アレンジ およびその他の主要な機能 | | |
| セキュリティ | セキュリティ固定スロット (ケーブルロックは別売) | | |

* パネルネイティブのみ、カスタムモードプリセット時。



解像度の仕様

| | |
|--|--|
| 水平スキャン範囲 | 15kHz ～ 140kHz |
| 垂直スキャン範囲 | 23Hz ～ 86Hz |
| 最大プリセット解像度 | 3840 x 2160 (60Hz 時) |
| ビデオ表示機能 (HDMI & DP & USB-C 切替モード) | 480p、576p、720p、1080i (HDMI のみ)、 1080p |

プリセット表示モード

| 表示モード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | ピクセル クロック (MHz) | 同期極性 (水平/垂直) |
|------------------------|----------------|---------------|-----------------------|-----------------|
| VGA, 720 x 400 | 31.469 | 70.08 | 28.322 | -/+ |
| VGA, 640 x 480 | 31.469 | 59.94 | 25.175 | -/- |
| VGA, 640 x 480 | 37.500 | 75.00 | 31.5 | -/- |
| SVGA, 800 x 600 | 37.879 | 60.317 | 40 | +/+ |
| SVGA, 800 x 600 | 46.875 | 75.00 | 49.5 | +/+ |
| XGA, 1024 x 768 | 48.363 | 60.004 | 65 | -/- |
| XGA, 1024 x 768 | 60.023 | 75.029 | 78.75 | +/+ |
| SXGA, 1152 x 864 | 67.500 | 75.00 | 108 | +/+ |
| SXGA, 1280 x 800 | 49.306 | 59.91 | 71.0 | -/+ |
| SXGA, 1280 x 1024 | 64.000 | 60.02 | 108 | +/+ |
| SXGA, 1280 x 1024 | 79.976 | 75.025 | 135 | +/+ |
| WUXGA, 1600 x 1200 | 75.000 | 60.00 | 162 | -/+ |
| FHD, 1920 x 1080 | 67.5 | 60.00 | 148.5 | -/+ |
| WQXGA, 2560 x 1440 | 88.787 | 59.951 | 241.5 | +/- |
| UHD, 3840 x 2160 | 65.68 | 30.00 | 262.75 | +/- |
| UHD 3840 x 2160 (DP) | 133.313 | 60.00 | 533.25 | +/- |
| UHD 3840 x 2160 (HDMI) | 135.0 | 60.00 | 594.0 | +/+ |



DP マルチストリームトランスポート (MST) モード

| MSTソース監視 | 対応している外部モニター最大数 |
|-----------------------|-----------------------|
| | 3840 x 2160 (60Hz 時) |
| 3840 x 2160 (60Hz 時) | 2 |

注意:最大数の外付けモニターを接続した状態での、外付けモニターの最大解像度は3840 x 2160 / 60Hzです (DSCがグラフィックスカードで有効にされているか、DSCをサポートするグラフィックスカードを使用する場合のみ)。

USB-C マルチストリームトランスポート (MST) モード

| OSD表示情報:リンク速度(現在) | 対応している外部モニター最大数 |
|-------------------|-----------------------|
| | 3840 x 2160 (60Hz 時) |
| HBR3 | 2 |
| HBR2 | 1 |

注意:最大数の外付けモニターを接続した状態での、外付けモニターの最大解像度は3840 x 2160 / 60Hzです (DSCがグラフィックスカードで有効にされているか、DSCをサポートするグラフィックスカードを使用する場合のみ)。



電氣的仕様

| モデル | U2723QX | U2723QE | U3223QE |
|-------------|--|--|--|
| ビデオ入力信号 | ・各差動線路にデジタルビデオ信号 1差動線路あたり100オームのインピーダンス ・DP/HDMI/& USB-C 信号入力をサポート | | |
| 入力電圧/周波数/電流 | 100-240 VAC / 50または60Hz±3Hz / 2.7A (最大) | | |
| 突入電流 | 120V: 72A(最大) 240V: 80A(最大) 突入電流は0°Cの周囲温度で測定。 | | |
| 消費電力 | 0.2 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 25.9 W (オンモード) ¹ 220 W (最大) ² 28.54 W (P _{on}) ³ 91.83 kWh (TEC) ³ | 0.2 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 25.9 W (オンモード) ¹ 220 W (最大) ² 28.54 W (P _{on}) ³ 91.83 kWh (TEC) ³ | 0.2 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 29.4 W (オンモード) ¹ 220 W (最大) ² 29.73 W (P _{on}) ³ 94.06 kWh (TEC) ³ |

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定められた通り(U2723QE/U3223QEのみ)。
² すべてのUSBポートに最大電力負荷をかけた状態で、輝度とコントラストを最大に設定。
³ P_{on}: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りのモードの電力消費。
 TEC: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りの合計エネルギー消費量 (kWh)。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を記載しております。お買い求めになった製品はご注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては異なる性能を示すことがあります。かかる情報を更新する義務はその製品にありません。そのため、電気の許容範囲やその他について意志決定するとき、お客様はこの情報に頼るべきではありません。精度または完全性に関しては、明示的にも黙示的にも何の保証もありません。


注意:ENERGY STAR 認定モニター。


本製品は工場出荷時の設定でENERGY STARに適合しており、OSDメニューにある「工場出荷時の値にリセット」機能を使って復元することができます。工場出荷時の設定を変更したり、他の機能を有効にすると、消費電力がENERGY STARで指定されている限界値を超えた値に増大する可能性があります。



物理的特徴

| モデル | U2723QX/U2723QE | U3223QE |
|------------|---|---|
| コネクタタイプ | <ul style="list-style-type: none">・ DP コネクタ (DP 入力および DP 出力)・ HDMI コネクター・ オーディオジャック (3.5mm径)・ USB-C (DP1.4、DSCサポート、PD: 90W、2/4レーン切換) アップストリームコネクター・ USB-C (USB 3.2 Gen 2, 10 Gbps KVM) アップストリームコネクター・ USB-A (USB 3.2 Gen2, 10 Gbps) ダウンストリームポート x 4個・ RJ45 コネクター・ 1 x USB-A (USB 3.2 Gen2, 10 Gbps)ダウンストリームポートでの BC 1.2 備えた・ USB-C (USB 3.2 Gen2, 10 Gbps, 15W) ダウンストリームポート | |
| 信号ケーブルの種類 | <ul style="list-style-type: none">・ DP to DP 1.8Mケーブル (U2723QE/U3223QEのみ)・ HDMI 1.8Mケーブル (U2723QXのみ)・ USB 3.2 Gen2 (C - C) 1.0Mケーブル・ USB 3.2 Gen2 (A - C) 1.0Mケーブル | |
| 寸法(スタンド付き) | | |
| 高さ(延長時) | 535.18 mm (21.07 インチ) | 618.77 mm (24.36 インチ) |
| 高さ(縮小時) | 385.18 mm (15.16 インチ) | 469.34 mm (18.48 インチ) |
| 幅 | 611.44 mm (24.07 インチ) | 712.61 mm (28.06 インチ) |
| 奥行 | 185.00 mm (7.28 インチ) | 233.17 mm (9.18 インチ) |
| 寸法(スタンドなし) | | |
| 高さ | 353.01 mm (13.89 インチ) | 410.04 mm (16.14 インチ) |
| 幅 | 611.44 mm (24.07 インチ) | 712.61 mm (28.06 インチ) |
| 奥行 | 54.33 mm (2.14 インチ) | 55.78 mm (2.20 インチ) |
| スタンド寸法 | | |
| 高さ(延長時) | 428.30 mm (16.86 インチ) | 483.30 mm (19.03 インチ) |
| 高さ(縮小時) | 381.50 mm (15.02 インチ) | 436.50 mm (17.19 インチ) |
| 幅 | 268.00 mm (10.55 インチ) | 300.00 mm (11.81 インチ) |
| 奥行 | 185.00 mm (7.28 インチ) | 233.17 mm (9.18 インチ) |
| ベース | 268.00 mm x 185.00 mm (10.55 インチ x 7.28 インチ) | 300.00 mm x 230.00 mm (11.81 インチ x 9.06 インチ) |



| 重量 | | |
|--|---------------------|----------------------|
| 重量 (パッケージング込み) | 9.53 kg (21.01 ポンド) | 14.49 kg (31.94 ポンド) |
| 重量 (スタンドアセンブリとケーブル込み) | 6.64 kg (14.64 ポンド) | 10.36 kg (22.84 ポンド) |
| 重量 (スタンドアセンブリなし) (壁マウントまたはVESAマウント考慮時-ケーブルなし) | 4.48 kg (9.88 ポンド) | 5.65 kg (12.46 ポンド) |
| スタンドアセンブリの重量 | 1.79 kg (3.95 ポンド) | 4.34 kg (9.57 ポンド) |



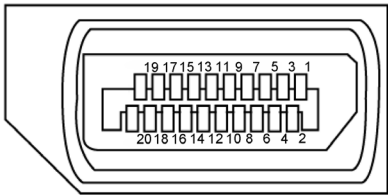
環境特性

| | |
|--|---|
| 適合規格 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ ENERGY STAR 認定モニター。・ 該当する場合はEPEATに登録されています。EPEAT への登録は国により異なります。・ 国別登録状況については、https://www.epeat.net をご覧ください。・ TCO Certified & TCO Certified Edge.・ RoHS準拠。・ BFR/PVC フリーのモニター (外部ケーブルを除く)。・ NFPA 99の漏れ電流要件に適合。・ ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル(のみ)。 | |
| 温度 | |
| 稼働時 | 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) |
| 非稼働時 | -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) |
| 湿度 | |
| 稼働時 | 10% ~ 80% (結露なし) |
| 非稼働時 | 5% ~ 90% (結露なし) |
| 高度 | |
| 稼働時 | 5,000 m (16,404フィート) (最大) |
| 非稼働時 | 12,192 m (40,000フィート) (最大) |
| 熱散逸 | |
| U2723QX/U2723QE | 750.67 BTU/時間 (最大) 98.27 BTU/時間 (オンモード) |
| U3223QE | 750.67 BTU/時間 (最大) 109.19 BTU/時間 (オンモード) |



ピンの割当

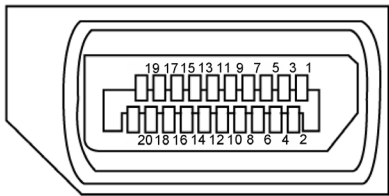
DPコネクタ (イン)



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの20ピン側 |
|------|-------------------|
| 1 | ML3(n) |
| 2 | GND |
| 3 | ML3(p) |
| 4 | ML2(n) |
| 5 | GND |
| 6 | ML2(p) |
| 7 | ML1(n) |
| 8 | GND |
| 9 | ML1(p) |
| 10 | ML0(n) |
| 11 | GND |
| 12 | ML0(p) |
| 13 | CONFIG1 |
| 14 | CONFIG2 |
| 15 | AUX CH (p) |
| 16 | GND |
| 17 | AUX CH (n) |
| 18 | ホットプラグ検出 |
| 19 | 復帰 |
| 20 | DP_PWR |



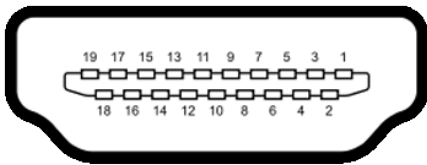
DPコネクタ (アウト)



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの20ピン側 |
|------|-------------------|
| 1 | ML0(p) |
| 2 | GND |
| 3 | ML0(n) |
| 4 | ML1(p) |
| 5 | GND |
| 6 | ML1(n) |
| 7 | ML2(p) |
| 8 | GND |
| 9 | ML2(n) |
| 10 | ML3(p) |
| 11 | GND |
| 12 | ML3(n) |
| 13 | CONFIG1 |
| 14 | CONFIG2 |
| 15 | AUX CH (p) |
| 16 | GND |
| 17 | AUX CH (n) |
| 18 | ホットプラグ検出 |
| 19 | 復帰 |
| 20 | DP_PWR |



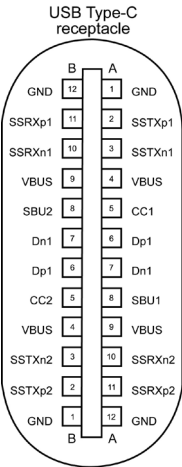
HDMIコネクタ



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの19ピン側 |
|------|-------------------|
| 1 | TMDSデータ2+ |
| 2 | TMDSデータ2シールド |
| 3 | TMDSデータ2- |
| 4 | TMDSデータ1+ |
| 5 | TMDSデータ1シールド |
| 6 | TMDSデータ1- |
| 7 | TMDSデータ0+ |
| 8 | TMDSデータ0シールド |
| 9 | TMDSデータ0- |
| 10 | TMDSクロック+ |
| 11 | TMDSクロックシールド |
| 12 | TMDSクロック- |
| 13 | CEC |
| 14 | 使用不可 (デバイス無接続) |
| 15 | DDCクロック (SCL) |
| 16 | DDCデータ (SDA) |
| 17 | DDC/CECグランド |
| 18 | +5V電源 |
| 19 | ホットプラグ検出 |



USB-Cコネクタ






| PIN | 信号 | PIN | 信号 |
|-----|--------|-----|--------|
| A1 | GND | B12 | GND |
| A2 | SSTXp1 | B11 | SSRXp1 |
| A3 | SSTXn1 | B10 | SSRXn1 |
| A4 | VBUS | B9 | VBUS |
| A5 | CC1 | B8 | SBU2 |
| A6 | Dp1 | B7 | Dn1 |
| A7 | Dn1 | B6 | Dp1 |
| A8 | SBU1 | B5 | CC2 |
| A9 | VBUS | B4 | VBUS |
| A10 | SSRXn2 | B3 | SSTXn2 |
| A11 | SSRXp2 | B2 | SSTXp2 |
| A12 | GND | B1 | GND |





ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース


このセクションでは、モニターで利用できるUSBポートについての情報を提供します。

 **注意:** バッテリー充電 Rev. 1.2 準拠のデバイスを備えたUSBダウンストリームポート ( バッテリーアイコン付きポート) で最大2A。他のUSBダウンストリームポートでは最大0.9Aです。5V/3A に適合したデバイスを備えたUSBタイプCダウンストリームポート ( アイコンが付いたポート) で最大3A。

お使いのコンピュータには次のUSBポートがあります。

- ・ アップストリーム x 2 - 背面。
- ・ ダウンストリーム x 6 - 底面に 4、クイックアクセスに 2。

電源充電ポート - バッテリーアイコン付きポート  は、デバイスが BC 1.2 互換である場合、高速電流充電機能をサポートします。アイコンが付いたUSBタイプCダウンストリームポート  は、デバイスが5V/3Aに適合している場合、高速電流充電機能に対応します。

 **注意:** モニターの USB ポートは、モニターがオンモードかスタンバイモードにある場合にのみ機能します。スタンバイモードでは、USB ケーブル (A - C または C - C) が接続されている場合に USB ポートが正常に機能します。それ以外の場合は、「その他の USB 充電」の OSD 設定に従います。設定が「スタンバイ中にオン」になっている場合は USB は正常に機能し、それ以外の場合は無効になります。モニターをオフにしてから再びオンにした場合、接続されている周辺機器が通常の機能を再開するまでに数秒時間がかかる場合があります。

Super speed USB 10 Gbps (USB 3.2 Gen2) デバイス

| 転送速度 | データレート | 最大消費電力 (各ポート) |
|-------------|----------|---------------|
| SuperSpeed+ | 10 Gbps | 4.5W |
| SuperSpeed | 5 Gbps | 4.5W |
| ハイスピード* | 480 Mbps | 4.5W |
| フルスピード* | 12 Mbps | 4.5W |

* High Resolution (高解像度) が選択されている場合のデバイス速度。



USB-C アップストリーム

- ・ 映像 DisplayPort 1.4、DSCサポート (HDCP 2.2)
- ・ データ Super Speed+ 10 Gbps (USB3.2 Gen2)
- ・ 電源供給 (PD)最大90W

USB 3.2 Gen2 (10 Gbps) ダウンストリームポート(底面)



| ピン番号 | 信号名 |
|------|------------|
| 1 | VBUS |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | GND |
| 5 | StdB_SSTX- |
| 6 | StdB_SSTX+ |
| 7 | GND_DRAIN |
| 8 | StdB_SSRX- |
| 9 | StdB_SSRX+ |
| シエル | シールド |

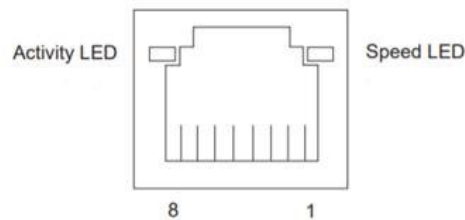
USB 3.2 Gen2 (10 Gbps) ダウンストリームポート(背面)



| ピン番号 | 信号名 |
|------|------------|
| 1 | VBUS |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | GND |
| 5 | StdA_SSRX- |
| 6 | StdA_SSRX+ |
| 7 | GND_DRAIN |
| 8 | StdA_SSTX- |
| 9 | StdA_SSTX+ |
| シエル | シールド |



RJ45 ポート (コネクタ側)




| ピン番号 | 10BASE-T 100BASE-T | 1000BASE-T |
|------|-----------------------|------------|
| 1 | 送信+ | BI_DA+ |
| 2 | 送信- | BI_DA- |
| 3 | 受信+ | BI_DB+ |
| 4 | 未使用 | BI_DC+ |
| 5 | 未使用 | BI_DC- |
| 6 | 受信- | BI_DB- |
| 7 | 未使用 | BI_DD+ |
| 8 | 未使用 | BI_DD- |

ドライバのインストール

システムで利用可能な用のRealtek USB GBEイーサネットコントローラードライバをインストールしてください。このドライバは、<https://www.dell.com/support> の「ドライバおよびダウンロード」のセクションからダウンロードできます。

ネットワーク (RJ45) データ転送速度は USB-C 経由で以下の通り データ優先 1000Mbps。

 **注意:** この LAN ポートは 1000Base-T IEEE 802.3az との互換性があり、Mac アドレス (モデルラベルに印刷) パススルー (MAPT)、スタンバイモードからの ウェイクオン LAN (WOL) (S3のみ)、UEFI PXE ブート機能に対応しています [UEFI PXEブートは、Optiplex 7090/3090 Ultra デスクトップを除き、Dell 製デスクトップ PC ではサポートされていません]。なお、これらの3つの機能は BIOS 設定と OS バージョンに依存します。Dell 以外のメーカーの PC では機能が異なります。



RJ45コネクタのLEDステータス：



| LED | カラー | 説明 |
|------|---------|---|
| 右LED | 黄色または緑色 | 速度インジケータ： ・ 黄色に点灯 - 1000 Mbps ・ 緑色に点灯 - 100 Mbps ・ 消灯 - 10 Mbps |
| 左LED | 緑色 | リンク / アクティビティインジケータ： ・ 点滅 - ポートでアクティビティ中。 ・ 緑色に点灯 - リンクを確立しています。 ・ 消灯 - リンクが確立されていません。 |

 注意： RJ45 ケーブルは、付属の標準アクセサリではありません。



プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイにシステムが対応していれば、モニターを接続できます。モニターがディスプレイデータチャネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、コンピュータはコンピュータ自身で構成を実行し、モニター設定を最適化することができます。ほとんどのモニターの設置は自動で行われます。必要に応じて、異なる設定を選択できます。モニター設定を変更するための詳細については、[モニターを操作する](#)を参照してください。

LCD モニターの品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造工程中、1つまたは複数のピクセルが不変の状態で固定されることがよくありますが、これは目視で確認することが難しく、ディスプレイの品質や使用感に影響することはありません。Dell モニターの品質とピクセルに関するポリシーは、こちらをご覧ください: <https://www.dell.com/pixelguidelines>



メンテナンスガイドライン

モニターのお手入れ

- ⚠ **警告:** モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを外してください。
- ⚠ **注意:** モニターを清掃する前に、**安全に関する注意事項**を読み、記載されている指示に従ってください。

誤った方法で清掃すると、Dellモニターに物理的な損傷が生じることがあります。物理的損傷はモニターの画面と本体を傷つけます。

モニターの清掃時は以下の指示に従ってください：

- ・ Dellモニター画面を清掃するには、柔らかく清潔な布を水で軽く湿らせてください。可能であれば、Dellモニター画面に適した特別な画面クリーニング用ティッシュや液剤を使用してください。
- ⚠ **注意:** 洗剤や、ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨性洗剤、アルコールなど他の化学薬品、および圧搾空気は絶対に使用しないでください。
- ⚠ **警告:** モニターの表面には洗剤を吹き付けず、水であっても濡らさないでください。パネルへ液体を直接吹き付けると、パネルを伝って内部の電気部品を腐食させ、恒久的に破損させる原因となります。代わりに、柔らかな布を液剤や水を軽く湿らせてください。
- ⚠ **注意:** 洗剤を使用すると、色褪せ、モニターでの白色がかった薄膜、変形、不均一な暗色、画面の表面剥離など、モニターの外層を損傷させる原因となります。
- **注釈:** 誤った方法で清掃したり、ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨性洗剤、アルコール、圧搾空気、その他の洗剤を使用すると、顧客による損傷 (CID) と見なされます。CIDは標準のDell保証の対象外となります。
- ・ モニターの開梱時に白い粉がついた場合は、布で拭いてください。
- ・ 暗めの色のモニターは、明るい色のモニターよりも傷が付きやすく、白い傷が表れることがあるため、モニターの取り扱いには注意してください。
- ・ モニターで最良の画像品質を維持するため、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、使用しない時にはモニターの電源を切るようにしてください。



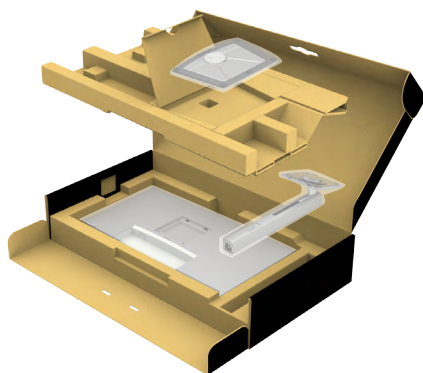
モニターを設置する

スタンドを取り付ける

- 注釈:工場からモニターを出荷する際には、スタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されます。
- 注釈:以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

モニタースタンドを取り付ける:

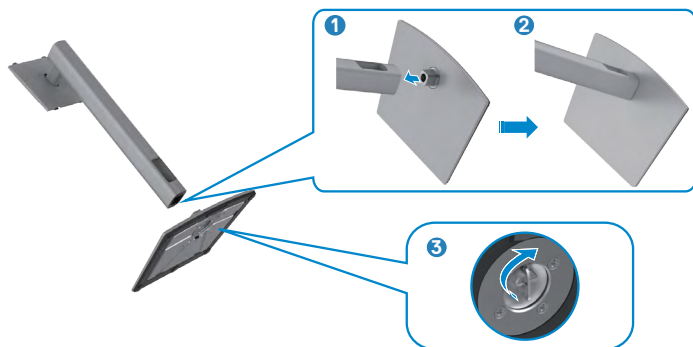
1. ボックス前面にある折り込み部分を開いて、スタンドライザーとスタンドベースを取り出します。



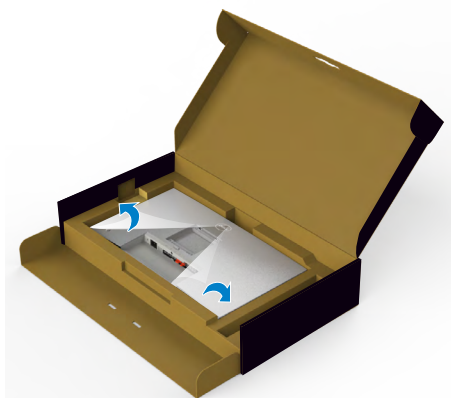
2. スタンドライザーとスタンドベースの位置を合わせて配置します。
3. スタンドベースの下部にあるネジハンドルを開いて、時計回りに回しスタンドアセンブリを固定します。



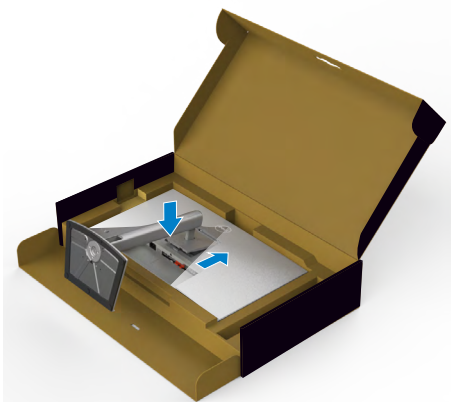
4. ネジハンドルを閉じます。



5. モニターの保護カバーを開いて、モニターの VESA スロットにアクセスします。




6. スタンドライザーのタブをディスプレイ背面カバーのスロットにスライドさせ、所定の位置に固定されるまでスタンドアセンブリを押し下げます。

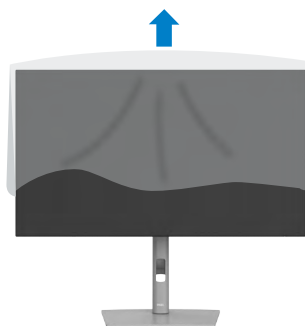


7. スタンドライザーを手に持ち、モニターを注意深く持ち上げて、平らな場所に置きます。




 **注釈:**偶発的な破損を防ぐため、モニターを持ち上げる際には、スタンドライザーをしっかりと持ってください。

8. モニターから保護カバーを持ち上げて外します。



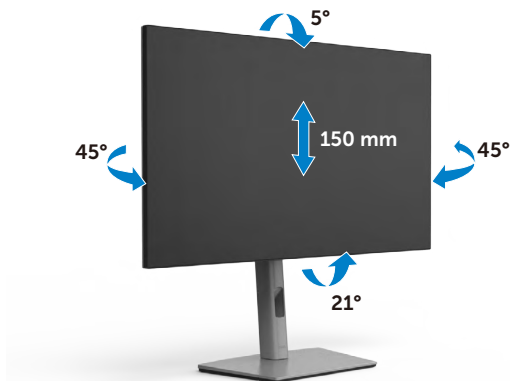
傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する

 注釈：以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

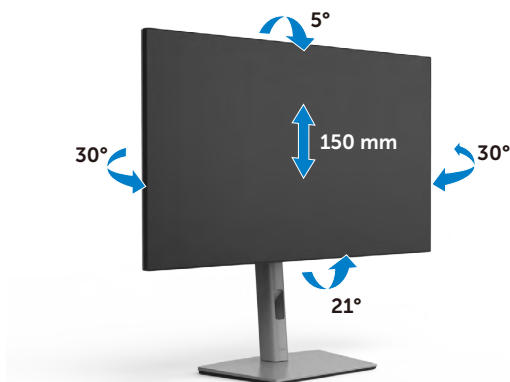
傾斜、回転、垂直延長調整機能

モニターにスタンドが付いている場合、最も見やすい角度になるようにモニターを傾けることができます。

U2723QX/U2723QE



U3223QE



 注釈：工場から出荷される際には、スタンドが取り外された状態になっています。



ディスプレイを回転させる

ディスプレイを回転させる前に、スタンドライザーの上部までディスプレイを垂直に伸ばして、ディスプレイを後方に限界まで傾けてください。ディスプレイの下端がぶつかるのを防ぎます。




注釈: ディスプレイを回転させている時に、Dell コンピュータでディスプレイ設定の横向きと縦向きを切り替える場合は、最新のグラフィックスドライバーをダウンロードし、インストールしてください。ダウンロードするには、<https://www.dell.com/support/drivers> にアクセスし、適切なドライバーを検索してください。

注釈: ディスプレイが縦向き設定で、3D ゲームなどグラフィックを多用するアプリケーションを使用する場合、パフォーマンスが低下することがあります。




回転後にコンピュータのディスプレイ設定を構成する

ディスプレイを回転させたら、以下の手順でコンピュータ上のディスプレイ設定を構成します。

 **注釈:** モニターをDell 製以外のコンピュータで使用する場合、グラフィックスカード製造元のウェブサイトまたはコンピュータ製造元のウェブサイトにアクセスして、ディスプレイのコンテンツを回転させる方法をご確認ください。

ディスプレイ設定を構成する方法:

1. **Desktop (デスクトップ)** を右クリックし、**Properties (プロパティ)** をクリックします。
2. **Settings (設定)** タブを選択し、**Advanced (詳細)** をクリックします。
3. AMD グラフィックスカードを使用している場合は、**Rotation (回転)** タブを選んで、優先する回転を設定します。
4. **NVIDIA** グラフィックスカードを使用している場合は、**NVIDIA** タブをクリックし、左側のリストから **NVRotate (NV回転)** を選択し、優先する回転を選択します。
5. Intel® グラフィックスカードを使用している場合は、Intel グラフィックスタブを選択し、**Graphic Properties (グラフィックプロパティ)** をクリックし、**Rotation (回転)** タブを選択後、優先回転を設定します。

 **注釈:** 回転オプションが表示されない場合や正しく機能しない場合、<https://www.dell.com/support> にアクセスし、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードしてください。



ケーブルを整理する



必要なすべてのケーブルをモニターとコンピュータに接続した後（ケーブルの接続については**モニターを接続する**を参照）、すべてのケーブルを上記に示されている通りに整理します。

ケーブルが PC まで届かない場合は、モニタースタンドのスロットを経由せずに PC に直接接続できます。




モニターを接続する

⚠ **警告:** このセクションの手順を開始する前に、**安全に関する注意事項**に従ってください。

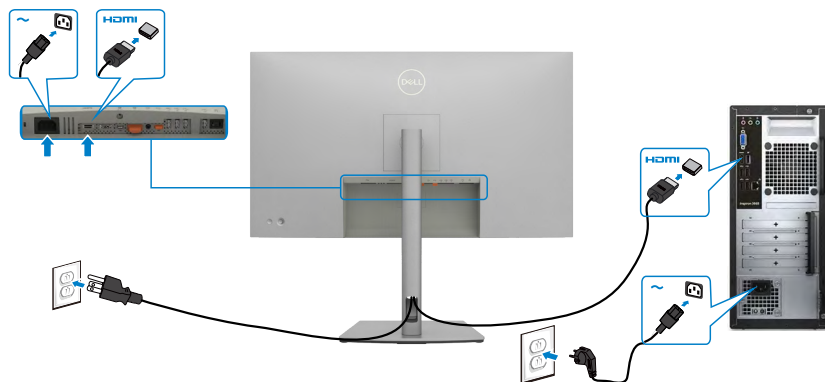
モニターをコンピュータに接続します：

1. コンピュータの電源を切ります。
2. HDMI/DisplayPort/USB ケーブルと、モニターからの USB タイプC ケーブルをコンピュータに接続します。
3. モニターの電源を入れます。
4. モニターの OSD メニューで正しい入力ソースを選択し、コンピュータの電源を入れます。

 **注釈:** U2723QX/U2723QE/U3223QE のデフォルト設定は DisplayPort 1.4 です。DisplayPort 1.1 グラフィックカードの場合、正常に表示されないことがあります。「製品に固有の問題 - PCに DP で接続すると画像が表示されない」を参照して、デフォルト設定を変更してください。

HDMI ケーブルを接続する

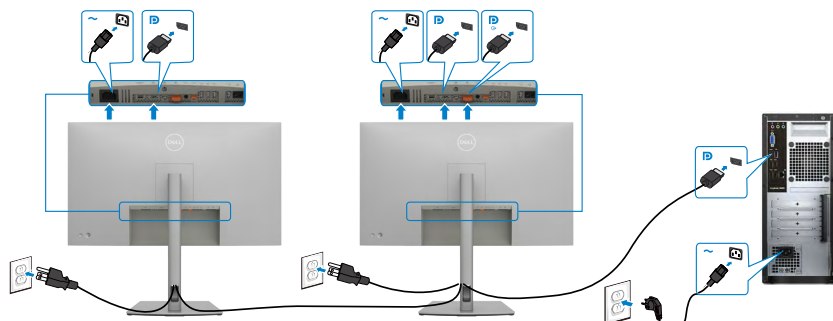
(U2723QX (受信トレイ) / U2723QE/U3223QE (オプション))



DP ケーブルを接続する



DP MST (マルチストリームトランスポート) 機能用のモニタを接続します



注意: はDP MST機能をサポートします。この機能を使用するには、PCグラフィックスカードがMSTオプションでDP1.2に認証されている必要があります。4K 60Hzを使用するにはDSC対応のグラフィックカードが必要です。

注意: ディスプレイポート出力コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。

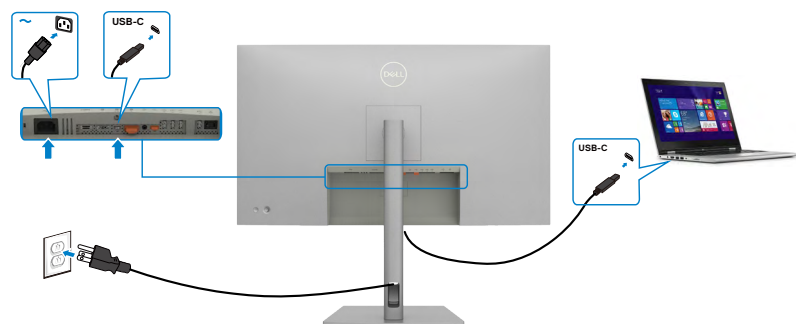


USB-Cケーブルを接続する (A-C)



注意:この接続の場合、データのみが利用可能となり、ビデオは利用できません。表示するためには別のビデオ接続が必要です。

USB-Cケーブルを接続する (C-C)



モニターのUSBタイプCポート:

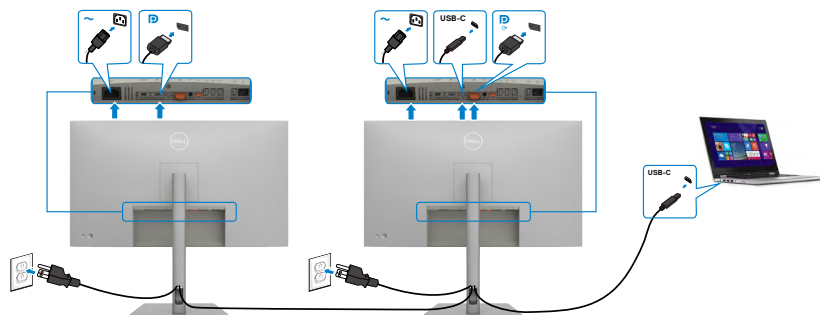
- ・ USB タイプC、DisplayPort 1.4を代わりに使用することができます。
- ・ 最大90Wのプロファイルを備えたUSB Power Delivery (PD) をサポートしています。

注意:ノートパソコンの電力要件/実際の消費電力、またはバッテリーの残り電力ランタイムにかかわらず、Dell U2723QX/U2723QE/U3223QE モニターは、ノートパソコンに最大90Wの電源を供給するように設計されています。



| 定格電力 (PowerDeliveryを用いて USB-Cを搭載するノートパソコン) | 最大充電電力 |
|---|--------|
| 45W | 45W |
| 65W | 65W |
| 90W | 90W |
| 130W | 未対応 |

USB-Cマルチストリームトランスポート (MST) 機能にモニターを接続中



注意: 対応しているMST経由のU2723QX/U2723QE/U3223QEの最大台数は、USB-Cソースの帯域幅によって異なります。「**製品固有の問題 – USB-C MSTを使用した時に画像が表示されない**」を参照してください。

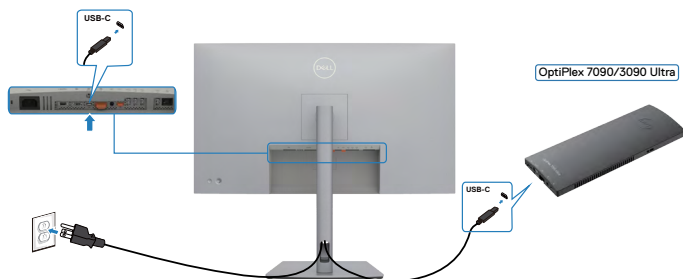
注意: ディスプレイポート出力コネクタを使用する場合には、ゴム製のプラグを取り外してください。

RJ45 ケーブル (オプション)対応のモニターの接続




Dell電源ボタン同期 (DPBS)

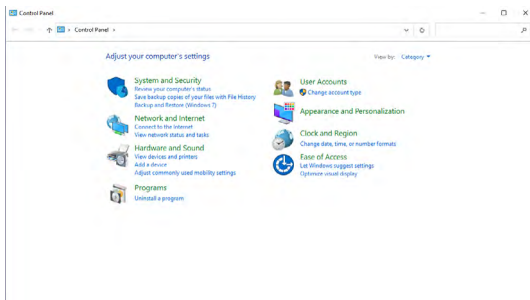
- ・ モニターには、Dell電源ボタン同期 (DPBS) 機能が組み込まれており、モニターの電源ボタンからPCシステムの電源状態を操作できます。この機能はDell OptiPlex 7090/3090Ultraプラットフォームとの互換性があり、USB-Cインターフェース経由でのみサポートされています。



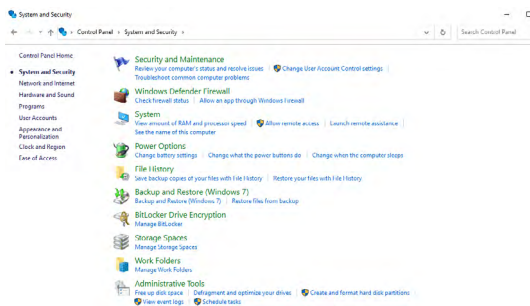
- ・ 初回時に、DPBS機能を確実に動作させるためには、まず最初に**Control Panel (コントロールパネル)**からDell OptiPlex 7090/3090 Ultraプラットフォーム向けに以下の手順を実行する必要があります。

注釈: DPBS は  アイコンのあるポートのみをサポートします。

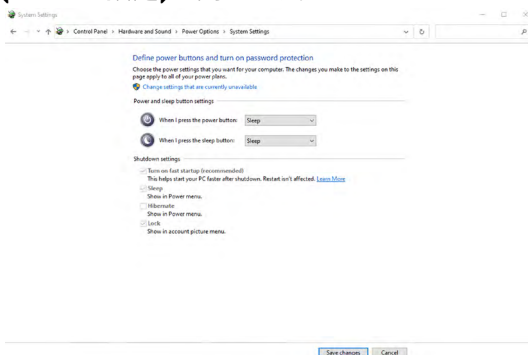
Control Panel (コントロールパネル)を開きます。



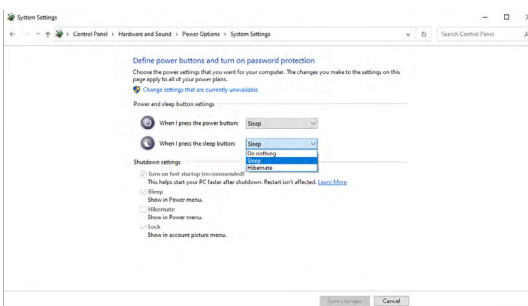
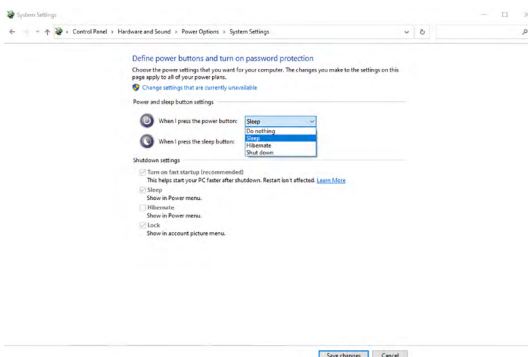
Hardware and Sound (ハードウェアとサウンド)を選択し、次に**Power Options (電源オプション)**を選びます。



System Settings (システム設定)を開きます。



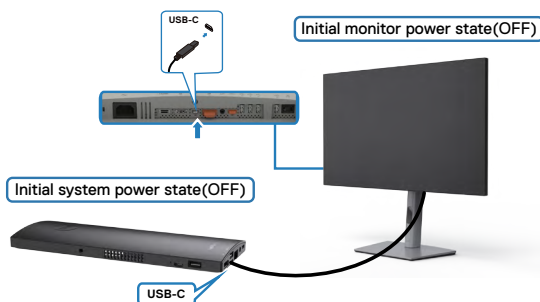
When I press the power button (電源ボタンを押した時の動作)のドロップメニューには、Do nothing/Sleep/Hibernate/Shut down (何もしない/スリープ状態/休止状態/シャットダウン)のオプションがあり、ここからSleep/Hibernate/Shut down (スリープ状態/休止状態/シャットダウン)を選択できます。



注釈: Do nothing (何もしない)は選択しないでください。選択すると、モニターの電源ボタンがPCシステムの電源状態と同期できなくなります。





DPBS用の初回時の接続



DPBS機能を初めて設定する際には、以下の手順を実行してください。

1. PCとモニターの両方がオフになっていることを確認してください。
2. PCからのUSBタイプCケーブルをモニターに接続します。
3. モニターの電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。
4. モニターとPCの両方が短い間オンになります。しばらくそのままにすると（およそ6秒ほど）、モニターとPCの両方がオフになります。
5. モニターの電源ボタンかPCの電源ボタンのいずれかを押すと、PCとモニターがオンになります。これで、PCシステムの電源状態がモニターの電源ボタンに同期されました。

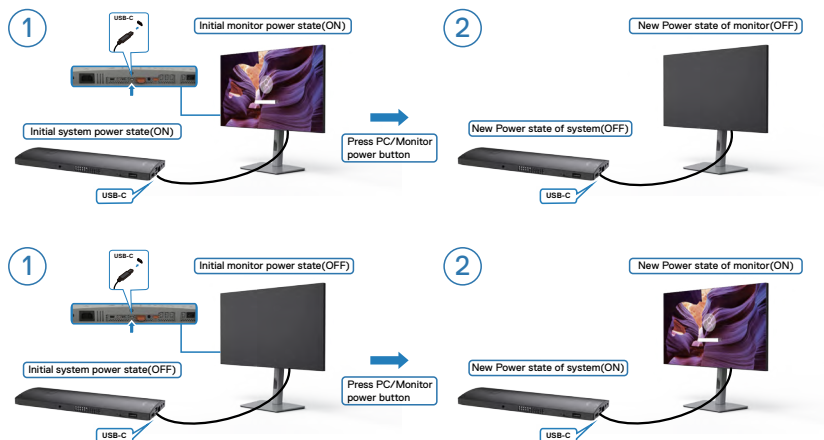
 **注釈:**初めてモニターとPCの両方が電源オフの状態になるときは、まず最初にモニターをオンにしてから、PDからモニターにUSBタイプCケーブルを繋げることを推奨します。

 **注釈:**OptiPlex 7090/3090 Ultraプラットフォームの電源は、DCアダプタージャックを使用して供給することができます。その他にも、電源供給（PD）を通してモニターのUSB-Cケーブルを使用し、OptiPlex 7090/3090 Ultraプラットフォームの電源を共有することもできます。その場合は、オフモードでのUSB-C充電をオンに設定してください。

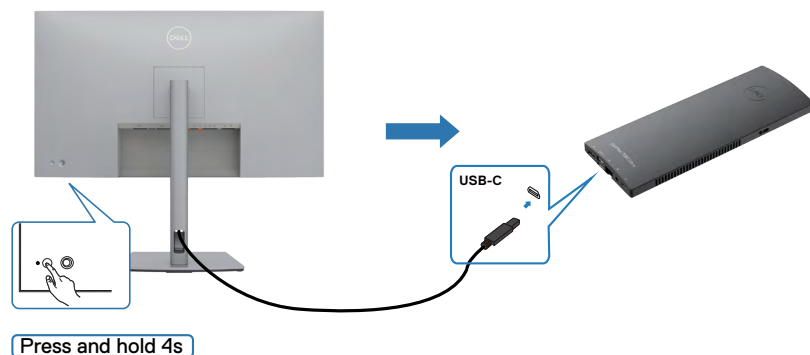


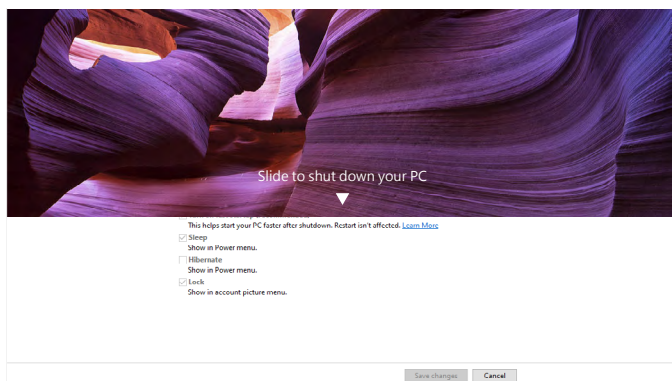
DPBS機能を使用する

モニターの電源ボタンまたはPCの電源ボタンを押すと、モニター / PC状態は次のようになります。

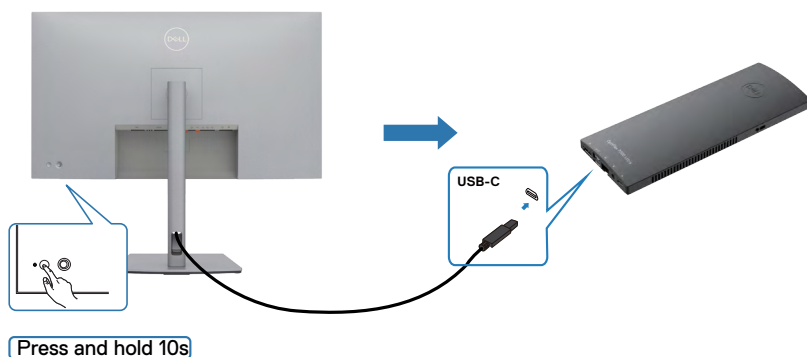


モニターとPCの電源状態が両方ともオンの場合に、モニターの電源ボタンを4秒間押し続けると、PCをシャットダウンするかどうかを尋ねるメッセージが画面に表示されます。



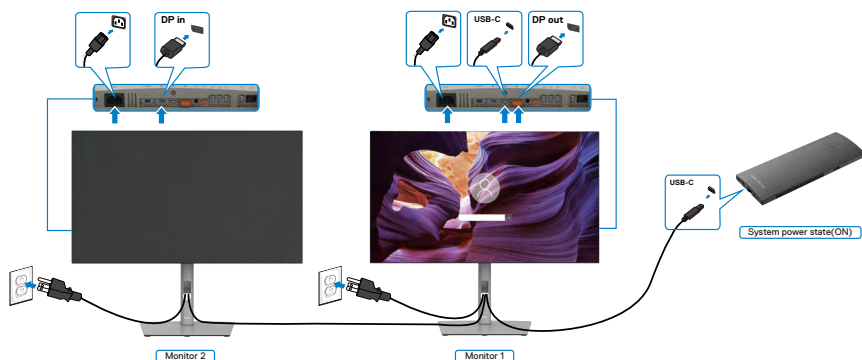


モニターとPCの電源状態が両方ともオンの場合に、**モニターの電源ボタンを10秒間押し続けると、PCがシャットダウンします。**

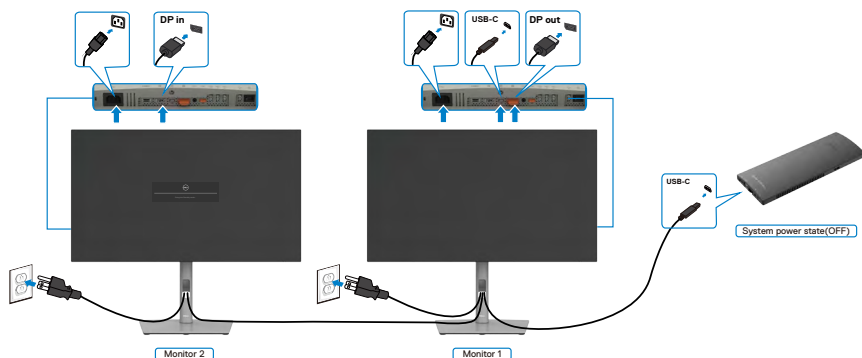


USB-Cマルチストリームトランスポート(MST)機能用のモニターの接続

PCが最初はおフの電源状態で2台のモニターに接続されている場合、PCシステムの電源状態はモニター1の電源ボタンと同期しています。モニター1またはPCのいずれかの電源ボタンを押すと、モニター1とPCの両方がオンになります。この間、モニター2はオフの状態のままです。モニター2をオンにするには、モニター2の電源ボタンを手動で押す必要があります。





同様に、PCが最初はおンの電源状態で2台のモニターに接続されている場合、PCシステムの電源状態はモニター1の電源ボタンと同期しています。モニター1またはPCのいずれかの電源ボタンを押すと、モニター1とPCの両方がオフになります。この間、モニター2はスタンバイモードになります。モニター2をオフにするには、モニター2の電源ボタンを手動で押す必要があります。

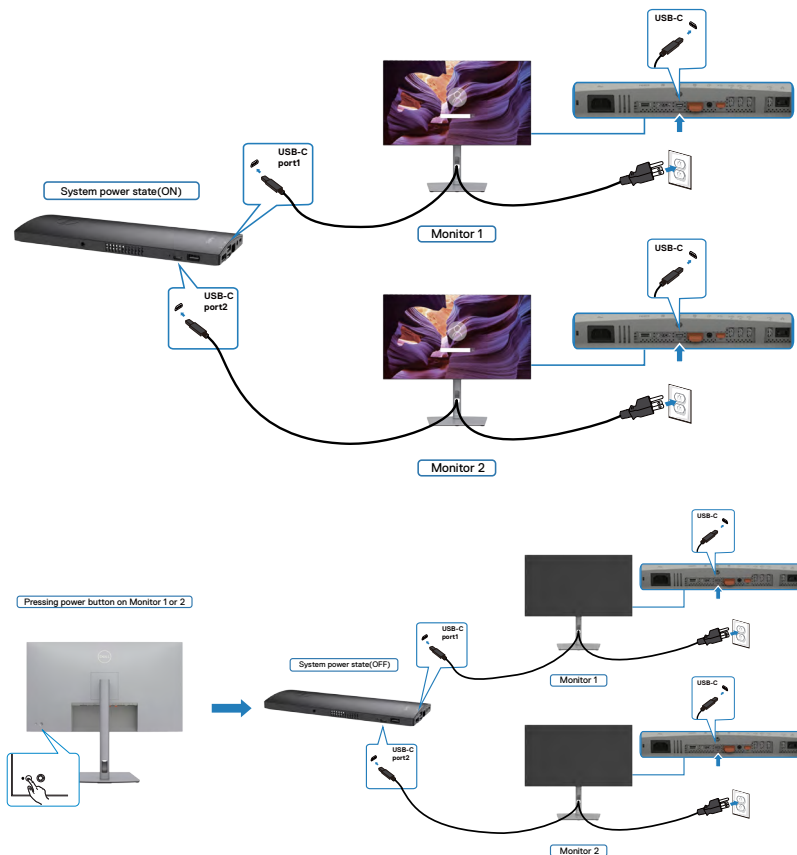


USB-C用のモニターの接続

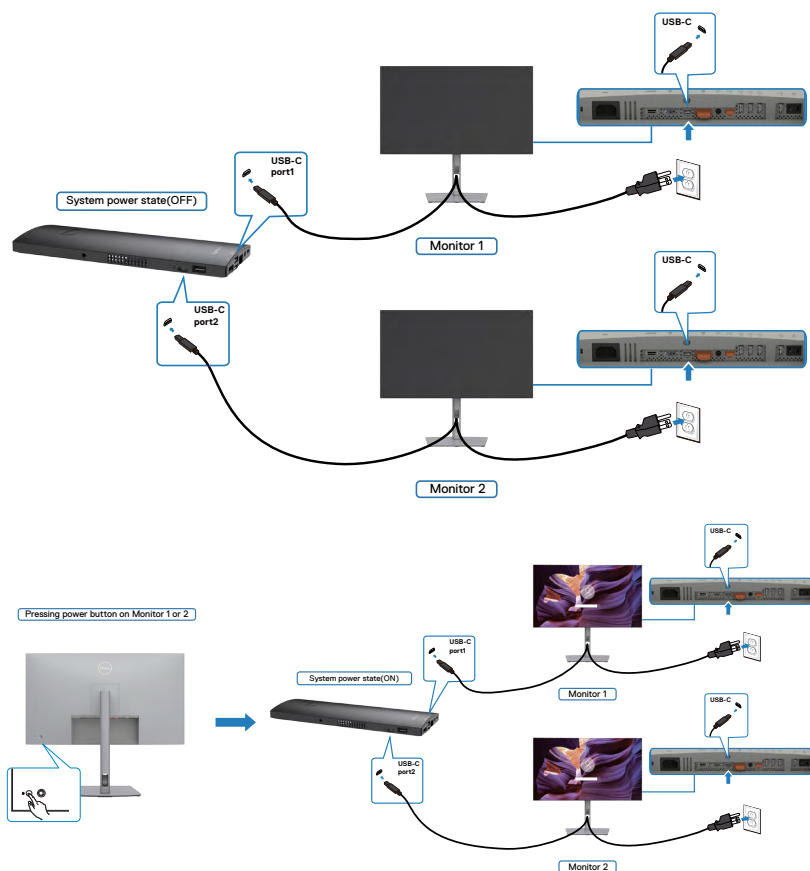
Dell OptiPlex 7090 UltraプラットフォームにはUSB-Cポートが2つあるため、モニター1とモニター2の両方の電源状態をPCと同期することができます。

PCと2台のモニターが最初にオンの電源状態にある場合、モニター1またはモニター2のいずれかの電源ボタンを押すと、PC、モニター1、およびモニター2の電源がオフになります。

 **注釈:**DPBS は  アイコンのあるポートのみをサポートします。



この際、オフモードでの**USB-C Charging (USB-C充電)**を必ずオンに設定してください。PCと2台のモニターが最初にオフの電源状態にある場合、モニター1またはモニター2のいずれかの電源ボタンを押すと、PC、モニター1、およびモニター2の電源がオンになります。

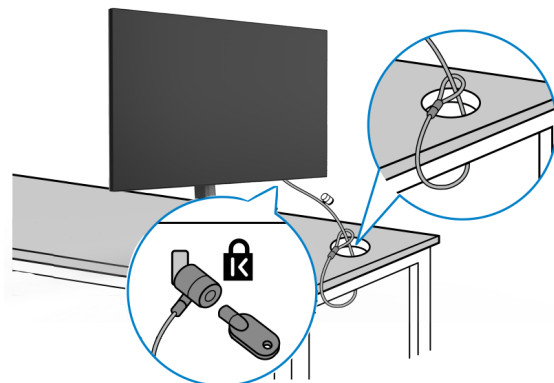


Kensington ロックを使用してモニターを固定する(オプション)

セキュリティ固定スロットは、モニターの底部にあります。(セキュリティ固定スロットを参照)

Kensington ロック (別売) の使用方法の詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。


Kensington セキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。




注釈: 画像は説明を目的としたイメージです。ロックの外観が異なる場合があります。



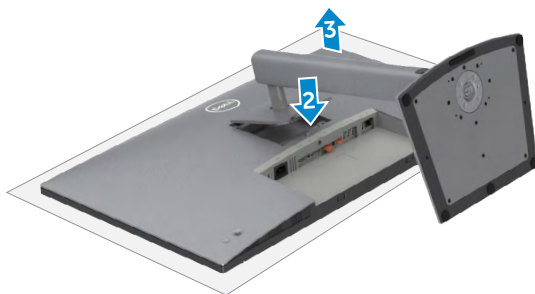
モニタースタンドを取り外す

 **注意:** スタンドを取り外す際に液晶画面に傷が付かないように、モニターは、柔らかく清潔な表面に置くようにしてください。

 **注釈:** 以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。


スタンドを取り外します:

1. モニターを柔らかい布かクッションの上に置きます。
2. スタンドリリースボタンを長押しします。
3. スタンドを持ち上げて、モニターから外します。




壁取り付け (オプション)



 **注釈:** M4 x 10 mm ネジを使用して、モニターを壁取り付けキットに接続します。

VESA に対応した壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。


1. 柔らかい布かクッションを置いた水平で安定した台の上にモニターを置きます。
2. スタンドを外します。
3. フィリップス型プラススクリュードライバーを使用して、プラスチックカバーを固定している4本のネジを取り外します。
4. 壁取り付けキットにある取り付け用ブラケットをモニターに取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付属の説明書に従って、モニターを壁に取り付けます。

 **注釈:** 最低でも 17.92 kg (39.51 ポンド) (U272QX/U2723QE) / 22.60 kg (49.82 ポンド) (U3223QE) の重量/耐荷重能力を備えた UL、CSA または GS に記載されている壁取り付け用ブラケットのみを使用してください。



モニターを操作する

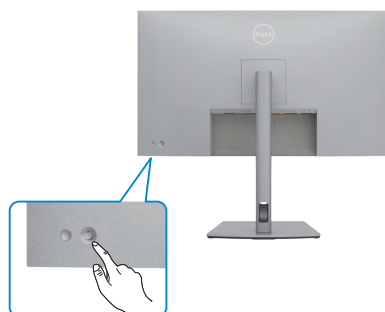
モニターの電源を入れる

 ボタンを押してモニターの電源を入れます。



ジョイスティックコントロールを使う

モニターの背面にあるジョイスティックコントロールを使用して、OSD を調整します。






モニター後部にあるジョイスティックコントロールを使用して OSD 調整を変更する場合は、次の手順を実行してください。

1. ジョイスティックを押して、OSD メニューランチャーを開きます。
2. OSD のメニューオプションは、ジョイスティックを上/下/左/右に動かして切り替えます。



ジョイスティックの機能

| 機能 | 説明 |
|---|----------------------------------|
|  | ジョイスティックを押して、OSD メニューランチャーを開きます。 |
|  | 左右へのナビゲーション用。 |
|  | 上下へのナビゲーション用。 |

メニューランチャーを使用する

ジョイスティックを押して、OSD メニューランチャーを開きます。



メニューランチャー

- ・ メインメニューを開くには、ジョイスティックを上切り替えます。
- ・ 必要なショートカットキーを選択するには、ジョイスティックを左または右に切り替えます。
- ・ 終了するには、ジョイスティックを下に切り替えます。



メニューランチャーの詳細

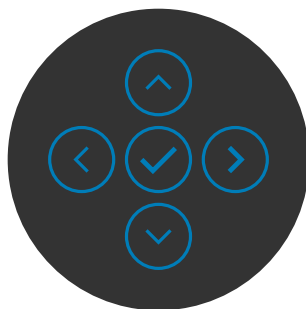
以下の表は、メニューランチャーのアイコンについて説明したものです：






| メニューランチャーのアイコン | 説明 |
|---|---|
|  Menu (メニュー) | オンスクリーンディスプレイ (OSD) を開きます。 メインメニューを使用する を参照。 |
|  USB Switch (USB スイッチ) Shortcut key 1 (ショートカットキー-1) | PBP モードでUSB アップストリームソース間を切り替える場合に選択します。 |
|  Input Source (入力信号) Shortcut key 2 (ショートカットキー-2) | Input Source (入力ソース) を設定します。 |
|  Preset Modes (プリセットモード) Shortcut key 3 (ショートカットキー-3) | Preset color modes (プリセットカラーモード) の中から選ぶことができます。 |
|  Brightness/Contrast (輝度/コントラスト) Shortcut key 4 (ショートカットキー-4) | Brightness/Contrast (輝度/コントラスト) 用の調節スライダーに直接アクセスします。 |
|  PIP/PBP Mode (PIP/PBP モード) Shortcut key 5 (ショートカットキー-5) | このボタンを使用して、PIP/PBP リストの中から選びます。 |
|  Exit (終了) | OSD メインメニューを終了します。 |



フロント-パネルボタン

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。



| フロントパネル | 説明 |
|---|--------------------------------------|
| 1  上  下 | 上(増加)と下(減少)キーを使用して、OSDメニューの項目を調整します。 |
| 2  前 | 前ボタンを押して前のメニューに戻ります。 |
| 3  次 | 次ボタンを使用して、次のレベルに行くか、オプションを選択します。 |
| 4  チェック | チェックボタンを使用して、選択を確定します。 |



メインメニューを使用する

アイコン

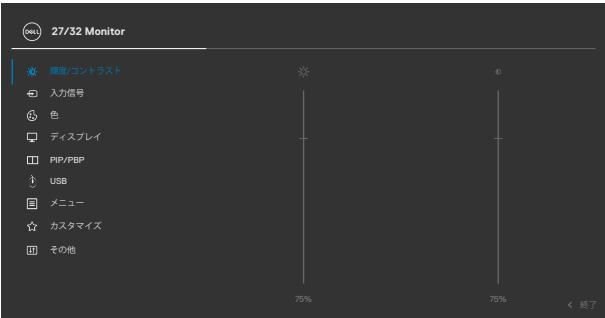
メニューとサブメニュー

説明



Brightness/
Contrast
(輝度/コントラスト)

Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)の調整を有効にします。



Brightness
(輝度)

バックライトの輝度を調整します (範囲:0~100)。
輝度を上げるには、ジョイスティックを上動かします。
輝度を下げるには、ジョイスティックを下動かします。

Contrast
(コントラスト)

最初に **Brightness (輝度)** を調節してから、さらに調整が必要な場合にのみ **Contrast (コントラスト)** を調整します。
コントラストを増やすにはジョイスティックを上にし、コントラストを減らすにはジョイスティックを下に動かします (範囲:0~100)。
Contrast (コントラスト) 機能は、モニター画面の暗さと明るさの差の度合いを調整します。







Input Source (入力ソース)

モニターに接続されているさまざまなビデオ入力の中から選択します。



USB-C 90W

USB-C  90W コネクタを使用している場合は、**USB-C  90W** 入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。


DP

DP (DisplayPort) コネクタを使用している場合は、**DP** 入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。


HDMI

HDMI コネクタを使用している場合は、**HDMI** 入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。


Auto Select (自動選択)

利用可能な入力ソースをスキャンできます。
 を押してこの機能を選択します。

Auto Select for USB-C (USB-Cの自動選 択)

-  を押してこれらの機能を選択します：
- **複数入力を求めるプロンプト：**ユーザーが切り替えるか、切り替えないかを選択するための「USB-Cビデオ入力切り替えメッセージ」を常に表示します。
 - **はい：**スケーラーは、USB-Cが接続されている間は、確認せずに常にUSB-Cビデオに切り替えます。
 - **いいえ：**スケーラーは別の利用可能な入力からUSB-Cビデオに自動的に切り替わりません。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|--|---|---|
| | Rename Inputs (入力の名前を変更) | 入力の名前を変更できます。 |
| | Reset Input Source (入力ソースのリセット) | Input Source (入力ソース) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルト状態にリセットします。 ✓ を押してこの機能を選択します。 |
|  | Color (色) | 色設定モードを調整します。 |



Preset Mode
(プリセットモード)

プリセットモードを選択すると、リストから、標準、映画、ゲーム、色温度、色空間、またはカスタムカラーを選択することができます。




- **Standard (標準)**：デフォルトカラー設定、このモニターは低ブルーライトパネルを採用しています。TUVの認定を受けており、画面上のコンテンツを読む際に、よりリラックスできる刺激の少ない画像を作成します。
- **Movie (動画)**：映画に最適です。
- **Game (ゲーム)**：ほとんどのゲームアプリケーションに最適です。
- **Color Temp (色温度)**：画面はスライダーを5,000Kに設定すると、赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。また、スライダーを10,000Kに設定すると、青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- **Color Space (色空間)**：色空間を **sRGB, Rec. 709, DCI-P3**。
- **カスタムカラー**：カラー設定を手動で調整できます。ジョイスティックの左ボタンと右ボタンを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

Input Color Format (入力カラー形式)

ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

- **RGB**：モニターが、RGB出力をサポートするコンピュータまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
- **YCbCr**：お使いのメディアプレーヤーがYCbCr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|--|---------------------------------|---|
| | Hue (色相) | <p>ジョイスティックを使用して、色相を0～100の範囲で調整します。</p> <p>注意:色合い調整は、動画とゲームモードでのみ使用できます。</p> |
| | Saturation (彩度) | <p>ジョイスティックを使用して、彩度を0～100の範囲で調整します。</p> <p>注意:彩度調整は、動画とゲームモードでのみ使用できます。</p> |
| | Reset Color (色のリセット) | <p>モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。Ⓢを押してこの機能を選択します。</p> |
|  | Display (ディスプレイ) | <p>ディスプレイメニューを使用して画像を調整します。</p>  |
| | Aspect Ratio (アスペクト比) | <p>画像比率を16:9、Auto Resize (自動サイズ変更)、4:3、1:1に調整します。</p> |
| | Sharpness (シャープネス) | <p>画像をよりシャープまたはソフトに見せます。</p> <p>ジョイスティックを上下に動かして、シャープネスを「0」から「100」の範囲で調整します。</p> |
| | Response Time (応答時間) | <p>応答時間は、標準または高速に設定することが可能です。</p> |



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|--------------------------------------|---|
| | Smart HDR | <p>☑ を押してこの機能を選択します。</p> <p>スマート HDR (高ダイナミックレンジ) は、設定を最適に調整することで、自動的にディスプレイの出力を向上させ、現実生活の映像に似させて表示します。</p> <p>デスクトップ: これはデフォルトモードです。デスクトップコンピュータでモニターを一般的に使用する場合に最適です。</p> <p>ムービー HDR: HDR ビデオコンテンツの再生中にこのモードを使用して、コントラスト比、明るさ、カラーパレットを拡大します。これは、ビデオの品質と現実世界の映像を一致させます。</p> <p>ゲーム HDR: HDR をサポートするゲームをプレイするときにこのモードを使用して、コントラスト比、明るさ、カラーパレットを拡大します。これは、ゲーム開発者が意図したように、ゲーム体験をより現実的にします。</p> <p>DisplayHDR: DisplayHDR規格に準拠するコンテンツに最適です。</p> <p>オフ: スマート HDR 機能を無効にします。</p> <p>注意: HDRモード時のピーク輝度は 400 nit (標準値) です。HDR再生中の実際の値と継続時間は、ビデオコンテンツに応じて異なる場合があります。</p> |
| | MST | <p>DPマルチストリーム転送、オンにするとMSTが有効となり (DP出力)、オフにするとMST機能が無効になります。</p> <p>注意: DP/USB-CアップストリームケーブルとDPダウンストリームケーブルが接続されている場合、モニターは自動的にMST = ONを設定します。この操作は、工場出荷時リセットまたはディスプレイリセット後に1回だけ行われます。「DP MST (マルチストリームトランスポート) 機能用のモニタを接続します」を参照してください。</p> |
| | USB-C Prioritization (USB-C の優先順位付け) | <p>USB-Cポート/DisplayPort を使用する場合に、高解像度 (High Resolution) または高速 (High Data Speed) でデータを転送する優先順位を指定できます。</p> |



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|---------------------------------------|--|
| | Multi-Monitor Sync (マルチモニター同期) | マルチモニター同期 (MMS) では、DisplayPort を介してデイジーチェーン接続された複数台のモニターを、事前に定義済みの OSD 設定グループにバックグラウンドで同期できます。 |

OSD オプションでは、Display (ディスプレイ) メニューに「**Multi-Monitor Sync (マルチモニター同期)**」が作成され、ここから同期を有効/無効にできるようになります。



Reset Display (ディスプレイのリセット)

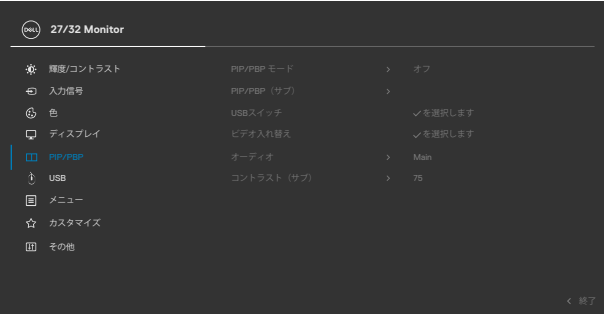
Display (ディスプレイ) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

⌚ を押してこの機能を選択します。



PIP/PBP

この機能を使用すると、別の入力源からの画像を表示するウィンドウが表示されます。



| メイン画面 | サブ画面 | |
|-------|-------|----|
| | USB-C | DP |
| USB-C | ✓ | ✓ |
| DP | ✓ | ✓ |

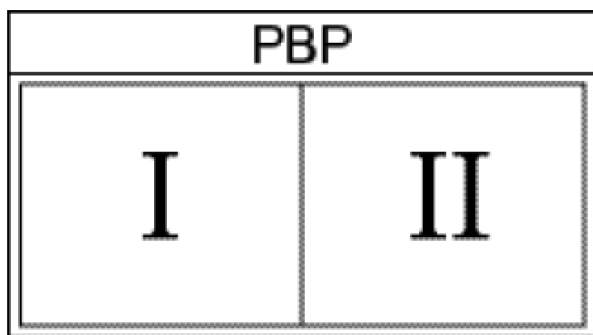
注釈: PBPの画像は画面の中央に表示され、フル画面にはなりません。



**PIP/PBP Mode
(PIP/PBPモード)**

PIPまたはPBP(ピクチャー・バイ・ピクチャー)モードを調整します。

オフを選択すれば、この機能を無効にできます。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|-------------------------------------|---|
| | PIP/PBP (Sub) (PIP/PBP (サブ)) | PBPサブ画面向けに、モニターに接続できる異なるビデオ信号から選択します。⓪ ボタンを押して、PBPサブ画面のソース入力を選択します。 |
| | |  |
| | |  |
| | USB Switch (USBスイッチ) | PBPモードのUSBアップストリームソース間で切り替える場合に選択します。ジョイスティックを動かして、PBPモードのUSBアップストリームソースを切り替えます。 |
| | Video Swap (ビデオスワップ) | PBPモードで、メイン画面とサブ画面のビデオを切り替える場合に選択します。ジョイスティックを動かして、メイン画面とサブ画面を入れ替えます。 |
| | Audio (オーディオ) | メインウィンドウまたはサブウィンドウからオーディオソースを設定できます。 |
| | Contrast (Sub) (コントラスト(サブ)) | PBPモードの画像コントラストレベルを調整します。ジョイスティックを動かして、コントラスト値を増減します。 |

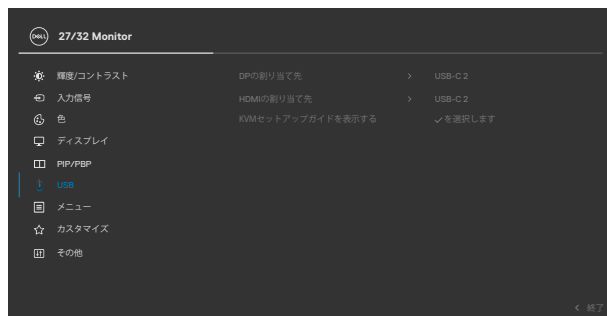




USB

DP入力信号用にUSBアップストリームポートを設定できます。これにより、コンピュータをいずれかのアップストリームポートに接続する場合に、モニターのUSBダウンストリームポート（例：キーボードとマウスなど）を現在の入力信号で使用できます。

アップストリームポートを1つだけ使用する場合は、接続されているアップストリームポートがアクティブになります。



注釈:データの損傷や損失を防ぐため、USBアップストリームポートを変更する前には、モニターのUSBアップストリームポートに接続されているコンピュータが、USBストレージデバイスを使用していないことを確認してください。

Show KVM Setup Guide (KVMセットアップ ガイドを表示する)

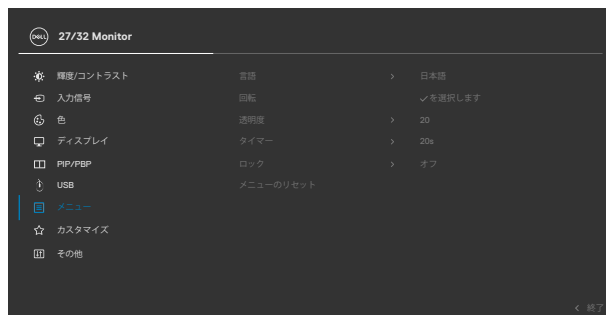
このオプションを選択して指示に従うと、キーボードとマウスを1組使用するだけで、複数のコンピューターをモニターへ接続できます。





Menu (メニュー)

このオプションを選択して、OSD の言語やメニューが画面に表示される長さなどの OSD の設定を調整します。



Language (言語)

8つある言語の中の1つの言語にOSDディスプレイを設定します。
(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語または日本語)。

Rotation (回転)

OSDは 0/90/270 度で回転します。
毎回回転させるには、ジョイスティックを押します。

Transparency (透明度)

このオプションを選択し、ジョイスティックを上下に動かして透明度を変更(範囲:0~100)、メニューの透明度を変更します。

Timer (タイマー)

OSD Hold Time (OSD表示時間) : ボタンを押した後、OSD がアクティブ状態を維持する長さを設定します。
ジョイスティックを動かしてスライダーを調節し、5秒~60秒の間で1秒単位で調整します。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|-------------------|---|
| | Lock (ロック) | モニターのコントロールボタンをロックすることで、他者がコントロールにアクセスできないようにすることができます。また、複数台のモニターの水平2分割セットアップを誤って実行してしまうこともなくなります。 |



- **メニューボタン**: OSDを通してメニューボタンをロックします。
- **電源ボタン**: OSDを通して電源ボタンをロックします。
- **メニュー + 電源ボタン**: OSDを通してメニューボタンと電源ボタン全てをロックします。
- **無効にする**: ジョイスティックを左に動かして4秒間そのままにします。

| | |
|-------------------------------|---|
| Reset Menu (メニューのリセット) | Reset (リセット) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。 <input checked="" type="checkbox"/> を押してこの機能を選択します。 |
|-------------------------------|---|





Personalize (個人用設定)



Shortcut key 1 (ショートカットキー-1)

Shortcut key 2 (ショートカットキー-2)

Shortcut key 3 (ショートカットキー-3)

Shortcut key 4 (ショートカットキー-4)

Shortcut key 5 (ショートカットキー-5)

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力ソース、アスペクト比、回転、PIP/PBPモード、USBスイッチ、ビデオスワップ、情報を表示から選択して、ショートカットキーとして設定します。

Power Button LED (電源ボタン LED)

電源ライトの状態を設定してエネルギーを節約できます。

USB-C Charging 90W (USB-C充電 90W)

モニターが電源オフモードの時の **USB-C Charging 90W (USB-C充電 90W)** 充電機能を有効または無効にできます。

注釈:この機能を有効にすると、モニターの電源がオフの場合でも、USB-C ケーブルを介してラップトップまたはモバイルデバイスを充電できます。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|---|--|
| | Other USB Charging (その他のUSB充電) | <p>モニターがスタンバイモードの時の Other USB Charging (その他のUSB充電) 機能を有効または無効にできます。</p> <p>注釈:この機能を有効にすると、モニターがスタンバイモードになっている場合でも、USB-A ケーブルを介して携帯電話を充電できます。</p> |
| | Fast Wakeup 高速ウェイクアップ(U2723QX/U2723QEのみ) | スリープモードからの回復時間をスピードアップします。 |
| | Reset Personalization (個人用設定のリセット) | <p>Personalization (個人用設定) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。</p> <p>Ⓢを押してこの機能を選択します。</p> |



Others (その他)

DDC/CI, LCD conditioning (LCD 調節) などの OSD 設定を調整する場合は、このオプションを選択します。



Display Info (情報を表示)

モニターの現在の設定を表示します。

☑ を押してこの機能を選択します。



DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャネル/コマンドインターフェイス)を使用することで、コンピュータのソフトウェアを経由してモニターのパラメーター (輝度、カラーバランスなど)を調節できるようになります。**Off (オフ)**を選択すれば、この機能を無効にできます。ユーザーの使用感とモニターのパフォーマンスを最適の状態にする場合は、この機能を有効にしてください。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|------|-----------------------------------|---|
| | LCD Conditioning (LCD 調節) | <p>残像によるささいな問題を軽減するのに役立ちます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。On (オン)を選択すれば、この機能を有効にできます。</p> |
| | |  <p>The screenshot shows the '27/32 Monitor' OSD menu. The 'LCD コンディショニング' (LCD Conditioning) option is highlighted in blue and set to 'オン' (On). Other visible options include '輝度/コントラスト', '入力信号', '色', 'ディスプレイ', 'PIP/PSBP', 'USB', 'メニュー', 'カスタマイズ', 'その他', 'ディスプレイ情報', 'DDC/CI', 'ファームウェア', 'サービスタグ', '自己診断', '物をリセット', and '工場リセット'.</p>  |
| | Firmware (ファームウェア) | <p>モニターのファームウェアバージョンを表示します。</p> |
| | Service Tag (サービスタグ) | <p>サービスタグを表示します。サービスタグは一意の英数字識別子であり、Dell 側で製品の仕様を識別して保証情報にアクセスできるようにするためのものです。</p> <p>注釈:サービスタグは、カバーの背面に貼られたラベルにも印刷されています。</p> |
| | Self- Diagnostics (自己分析) | <p>このアイコンを使用して組み込み診断を実行します。詳細は組み込み診断をご覧ください。</p> |
| | Reset Others (その他のリセット) | <p>Others (その他)メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。</p> <p>Ⓢを押してこの機能を選択します。</p> |
| | Factory Reset (工場出荷時にリセット) | <p>すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。</p> |



OSDロック機能を使用する

メニューおよび/または電源ボタンへのアクセスを防ぐため、前面パネルのコントロールボタンをロックすることができます。


ロックメニューを使用してボタンをロックします。

1. 次のオプションのいずれかを選択します。



次のメッセージが表示されます。

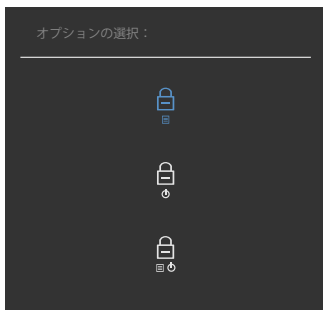


2. **はい**を選択して、ボタンをロックします。ロックすると、コントロールボタンを押した時にロックアイコンが表示されます 。






ジョイスティックを使ってボタンをロックします。

ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。



次のオプションのいずれかを選択します。




| オプション | 説明 |
|---|---|
| 1  メニューボタンのロック | このアイコンを使用して、OSDメニュー機能をロックします。 |
| 2  電源ボタンのロック | このアイコンを使用して、オフにならないように電源ボタンをロックします。 |
| 3  メニューボタンと電源ボタンのロック | このアイコンを使用して、OSDメニューと電源ボタンがオフにならないようにロックします。 |



ボタンのロックを解除します。

ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。下記の表は、前面コントロールボタンのロックを解除する際のオプションについて説明しています。

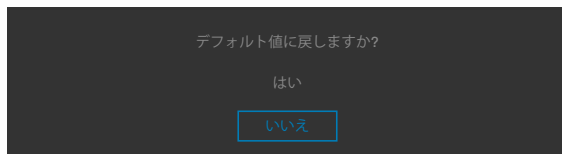


| オプション | | 説明 |
|-------------------|---|--|
| 1 |  | このアイコンを使用してOSDメニュー機能のロックを解除します。 |
| メニューボタンのロック | | |
| 2 |  | このアイコンを使用して、電源オフ状態でロックされている電源ボタンのロックを解除します。 |
| 電源ボタンのロック | | |
| 3 |  | このアイコンを使用して、OSDメニューと電源オフ状態になっている電源ボタンのロックを解除します。 |
| メニューボタンと電源ボタンのロック | | |



初期設定

その他の機能にある**Factory Reset (工場出荷時の状態にリセット)**の OSD 項目を選択すると、次のメッセージが表示されます：



「はい」を選択してデフォルト設定にリセットすると、次のメッセージが表示されます：



OSD 警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードに対応していない場合に、次のメッセージが表示されます：



これは、モニターがコンピュータから受信する信号と同期できないことを意味しています。このモニターでアドレス可能な水平および垂直周波数範囲については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨されるモードは**3840 x 2160** です。

DDC/CI 機能が無効になる前には、次のメッセージが表示されます：



モニターが **Standby Mode (スタンバイモード)** に入ると、次のメッセージが表示されます：



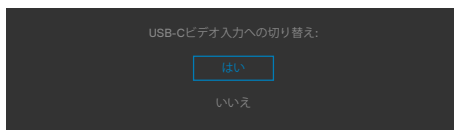
OSD にアクセスする場合は、コンピュータをオンにしてモニターをウェイクアップ状態にしてください。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力に応じて次のメッセージが表示されます：

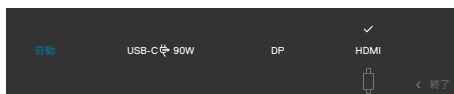


DP代替モードをサポートしているケーブルがモニターに接続している間、次の条件でメッセージが表示されます。

- ・**USB-Cの自動選択**が複数入力のプロンプトに設定されている場合。
- ・USB-C ケーブルがモニターに接続されている場合。



モニターが2つ以上のポートに接続されている状態で、Input Source (入力ソース) で **Auto (自動)** を選択すると、信号のある次のポートに切り替わります



パーソナライズ機能内の**スタンバイモード**にある OSD 項目の**オン**を選択すると、次のメッセージが表示されます。



輝度レベルをデフォルトレベルの75%以上に調整すると、次のメッセージが表示されます：



- ・ユーザーが「はい」を選択すると、電源メッセージは一度だけ表示されます。
- ・ユーザーが「いいえ」を選択すると、電源警告メッセージがもう一度ポップアップ表示されます。
- ・電源警告メッセージは、ユーザーがOSDメニューから工場出荷時の状態にリセットした場合にのみ再び表示されます。



HDMI/DP/USB-C 入力のいずれかが選択されており、それに対応するケーブルが接続されていない場合、次に示されているようなダイアログボックスが表示されます：



または



または



詳細については [トラブルシューティング](#) を参照してください。



最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定します：

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

1. Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vista および Windows 7 の場合は、この手順は省略してください。
2. デスクトップを右クリックして **Screen Resolution (画面解像度)** をクリックします。
3. **Screen Resolution (画面解像度)** のドロップダウンリストをクリックして、**3840 x 2160** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows 10とWindows 11：

1. デスクトップを右クリックして **Display Settings (ディスプレイ設定)** をクリックします。
2. **Display Resolution (画面解像度)** をクリックします。
3. ドロップダウンリストをクリックして **3840 x 2160** を選択します。
4. **Keep changes (変更を維持する)** または **Revert (元に戻す)** をクリックします。

オプションに **3840 x 2160** が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。コンピュータに応じて、次のいずれかの手順を実行します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピュータを使用している場合：

- ・ <https://www.dell.com/support> にアクセスし、サービスタグを入力して、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 製以外のコンピュータ(ラップトップまたはデスクトップ)を使用している場合：


- ・ コンピュータ製造元のサポートサイトにアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。
- ・ グラフィックカード製造元のウェブサイトアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。



マルチモニター同期 (MMS)

マルチモニター同期 (MMS) では、DisplayPort を介してデ이지チェーン接続された複数台のモニターを、事前に定義済みの OSD 設定グループにバックグラウンドで同期できます。

OSD オプションには、Display (ディスプレイ) メニューに「Multi-Monitor Sync (マルチモニター同期)」が表示され、ここから同期を有効/無効にできます。

 **注釈:MMS は HDMI インターフェースではサポートされていません。**



モニター 2 がマルチモニター同期をサポートしている場合、このモニターの MMS オプションも同期のために自動的に On (オン) に設定されます。

モニター全体で OSD 設定を同期することが望ましくない場合は、いずれかのモニターの MMS オプションを Off (オフ) に設定することでこの機能を無効にできます。



同期される OSD 設定

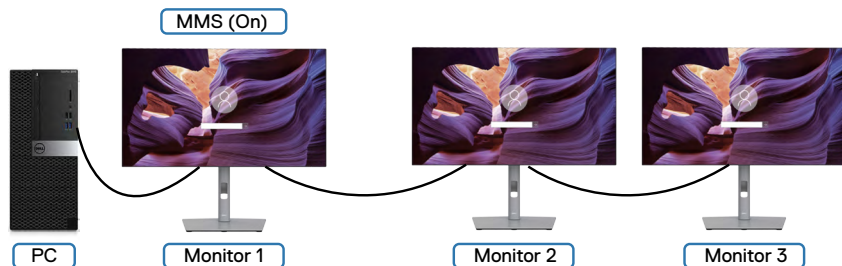
- ・ Brightness (輝度)
- ・ Contrast (コントラスト)
- ・ Preset Modes (プリセットモード)
- ・ Color Temperature (色温度)
- ・ Custom Color (RGB Gain) (カスタムカラー (RGBゲイン))
- ・ Hue (Movie, Game mode) (色相 (ムービー、ゲームモード))
- ・ Saturation (Movie, Game mode) (彩度 (映画、ゲームモード))
- ・ Response Time (応答時間)
- ・ Sharpness (シャープネス)

マルチモニター同期 (MMS) の設定

初期の電源オン中または新しいモニターの接続中は、MMS がオンの場合にのみユーザー設定の同期が開始します。すべてのモニターを、モニター1の設定から同期する必要があります。



初期同期以降の同期は、チェーン内の任意のノードからおこなった OSD 設定の事前定義されたグループへの変更によってトリガーされます。ダウンストリームとアップストリームのすべてのノードから変更を開始できます。



KVM USBスイッチの設定

KVM USBスイッチをモニターのショートカットキーとして設定します：

- 1. ジョイスティックボタンを押して、OSD メインメニューを起動します。
- 2. ジョイスティックを動かして**Personalize (個人設定)**を選択します。



- 3. ジョイスティックを右に動かすとハイライトされたオプションが有効になります。
- 4. ジョイスティックを右に動かして**Shortcut Key 1(ショートカットキー 1)**オプションを有効にします。
- 5. ジョイスティックを上下に動かして**USB Switch (USBスイッチ)**を選択します。



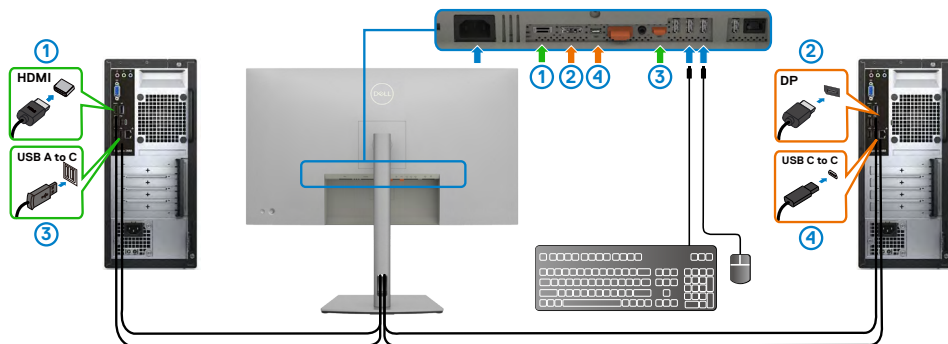
- 6. ジョイスティックボタンを押して、選択を確定します。

 **注釈：KVM USBスイッチ機能は、PBPモードでのみ機能します。**



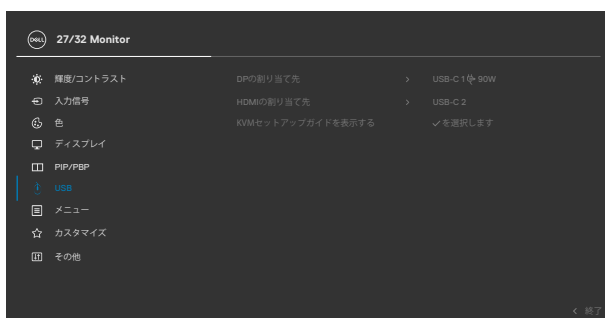
以下は、いくつかの接続シナリオとその際のUSB選択メニュー設定を示したものです。それぞれの箇所については、色付きカッコ内で図解しています。

- 1. HDMI + USB A - C をコンピュータ1、DP + USB C - Cをコンピュータ2に接続する場合：**

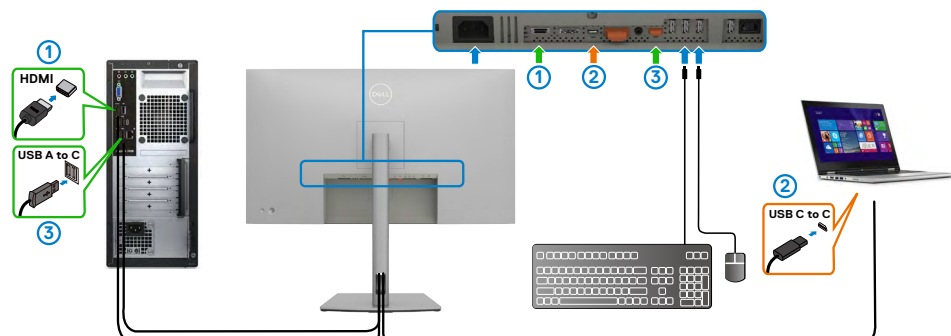


注釈：現在、USB-C接続は、データ転送のみに対応しています。

HDMIのUSB選択がUSB-C 2になっており、DPがUSB-C 1に90 Wに設定されていることを確認してください。



2. HDMI + USB A - Cをコンピュータ1、USB C - Cをコンピュータ2に接続する場合:



注釈: 現在USB-C接続は、ビデオおよびデータ転送のみに対応しています。
HDMIのUSB選択がUSB-C 2 に設定されていることを確認してください。



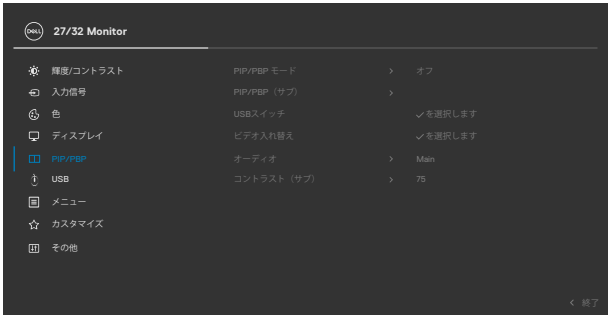
- 注釈:** USB-CポートはDisplayPort Alternate Mode (DisplayPort切替モード) に対応しているため、USB-C用にUSBを選択する必要はありません。
- 注釈:** 上記に示されていない別のビデオ入力ソースに接続する場合は、同じ方法に従ってUSB選択で正しい設定を行い、ポートをペアリングします。
- 注釈:** 内蔵のKVMスイッチを使用して、モニターへ接続された1台のキーボードとマウスから、最大2台のコンピュータを操作できます。



自動KVMの設定

以下の手順に従って、モニター用の自動KVMを設定できます。

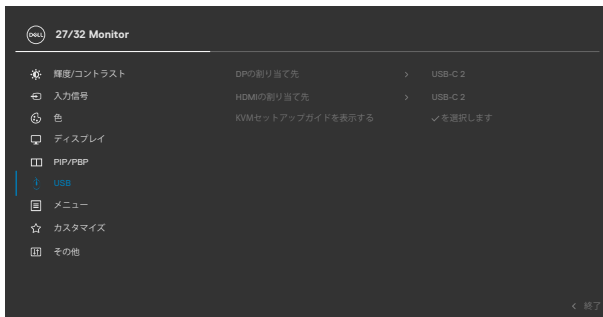
- 1. PIP/PBP Mode (PIP/PBPモード) がOff (オフ) になっていることを確認します。



- 2. Auto Select (自動選択) がOn (オン) になっており、Auto Select for USB-C (USB-Cの自動選択) がYes (はい) になっていることを確認します。



3. USBポートとビデオ入力が適切にペアリングされていることを確認します。



注釈:USB-C接続の場合、これ以上の設定は必要ありません。



トラブルシューティング

⚠ **警告:**このセクションの手順を開始する前に、**安全に関する注意事項**に従ってください。

セルフテスト

モニターには、モニターが正常に機能しているかどうかを確認できるセルフテスト機能が備わっています。モニターとコンピュータが適切に接続されているにもかかわらず、モニター画面が暗い状態のままの場合は、次の手順を実行してモニターのセルフテストを行ってください：

1. コンピュータとモニターの両方の電源を切ります。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを外します。適切なセルフテスト動作を確保するため、コンピュータの背面にあるすべてのデジタルケーブルとアナログケーブルを外してください。
3. モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を検出できなくても正常に動作している場合は、ダイアログボックスが画面上に表示されます（黒いソバックグラウンドの上に表示）。セルフテストモード中、電源 LED は白いままです。また、選択した入力に応じて、以下に示されているダイアログのいずれかが画面上に連続で表示されます。



または



または



4. このダイアログボックスは、ビデオケーブルが切断されたり損傷したりした場合、通常のシステム動作中にも表示されます。
5. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再び接続してから、コンピュータとモニターの両方の電源を入れます。

前記の手順を実行してもモニター画面が空白のままの場合は、ビデオコントローラーとコンピュータを確認してください。モニターは正常に機能しています。

内蔵されている診断機能

モニターには、発生している画面の異常がモニターに固有の問題なのか、コンピュータやビデオカードに固有の問題なのかを判断するのに役立つ診断ツールが内蔵されています。



内蔵診断を実行する方法：

1. 画面が清潔であることを確認します（画面の表面にほこりや粒子がついていない状態）。
2. その他の機能で自己分析のOSD項目を選択します。
3. ジョイスティックボタンを使用して、分析を開始します。グレー画面が表示されます。
4. 画面に欠陥や異常がないか確認します。
5. 赤い画面が表示されるまで、ジョイスティックをもう一度切り替えます。
6. 画面に欠陥や異常が表示されていないか確認します。
7. 画面に緑、青、黒、白色が表示されるまで、手順5と6を繰り返します。異常や欠陥に注意してください。

テキスト画面が表示されたら、テストは完了です。終了するには、ジョイスティックコントロールをもう一度切り替えます。

内蔵診断ツールを使用しても画面に異常が検出されない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピュータを確認してください。



よくある問題

以下の表で、発生する可能性のある、よくあるモニター上の問題に関する一般的な情報と、考える解決方法について説明します。

| よくある問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|----------------------|------------------|--|
| ビデオ/電源がない LED がオフの状態 | 画像が表示されない | <ul style="list-style-type: none">・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されていることを確認します。・他の電気機器を使用して、コンセントが適切に機能しているか確認します。・電源ボタンをしっかりと最後まで押しているか確認します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。 |
| ビデオ/電源がない LED がオフの状態 | 画像が表示されないか、輝度がない | <ul style="list-style-type: none">・OSD を使用して、輝度とコントラストを増やします。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。・内蔵診断機能を実行します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。 |
| ピクセルが欠けている | 液晶画面に斑点がある | <ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dellサポートサイトhttps://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。 |
| 張り付いたピクセル | 液晶画面に明るい斑点がある | <ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dellサポートサイトhttps://www.dell.com/pixelguidelines をご覧ください。 |
| 輝度の問題 | 画像が暗すぎる、または明るすぎる | <ul style="list-style-type: none">・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。・OSD を使用して、輝度とコントラストを調整します。 |



| よくある問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|-----------------------|----------------------------|--|
| 安全に関連した問題 | 煙または火花が目で確認できる | <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルシューティングはしないでください。 ・至急 Dell までお問い合わせください。 |
| 一時的に停止する問題 | モニターの誤作動でオン＆オフになる | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでも一時的に停止する問題が発生するか確認します。 |
| 色が欠けている | 画像に欠けた色がある | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターのセルフテストを実行します。 ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。 |
| 色に誤りがある | 画像の色が良くない | <ul style="list-style-type: none"> ・カラー設定OSDで、さまざまなプリセットモードをお試しください。 ・OSD のカラーメニューのカスタムカラーにある R/G/B 値を調整します。 ・OSD のカラーメニューで、入力カラー形式を PC RGB または YCbCr に変更します。 ・内蔵診断機能を実行します。 |
| モニターに長時間映された静止画像からの残像 | 表示された静止画像からのかすかな影が画面に表示される | <ul style="list-style-type: none"> ・画面がアイドル状態になってから数分後に、画面がオフになるように設定します。これらの設定は、Windows の電源オプションまたは Mac の省エネルギー設定で調整できます。 ・ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用することもできます。 |



製品に固有の問題

| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|---|--------------------------------|--|
| 画面の画像が小さすぎる | 画像は画面の中央に表示されるが、表示エリア全体に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ・OSD のディスプレイメニューにあるアスペクト比設定を確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 |
| フロントパネルにあるボタンでモニターを操作できない | OSD が画面に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの電源を切り、モニターの電源ケーブルを抜いてから、再び差し込み、モニターの電源を入れます。 |
| ユーザーコントロールを押しても入力信号がない | 画像が表示されない、LED ライトは白色 | <ul style="list-style-type: none"> ・信号ソースを確認してください。マウスを動かすか、キーボードのキーを押して、コンピュータがパワーセーブモードになっていないかを確認します。 ・信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。必要に応じて、信号ケーブルを接続し直します。 ・コンピュータまたはビデオプレーヤーをリセットします。 |
| 画像が画面全体に表示されない | 画像が画面の高さまたは幅全体を埋めることができない | <ul style="list-style-type: none"> ・DVD のビデオ形式 (アスペクト比) が異なるために、モニターにフル画面で表示される場合があります。 ・内蔵診断機能を実行します。 |
| PC に DP で接続すると画像が表示されない | 黒い画面 | <ul style="list-style-type: none"> ・お使いのグラフィックスカードが認定を受けている DP 基準 (DP 1.1a または DP 1.4) はどれかを確認します。最新のグラフィックスカードドライバをダウンロードおよびインストールしてください。 ・DP 1.1a グラフィックスカードの中には、DP 1.4 モニターに対応していないものがあります。 |
| コンピュータ、ノートパソコンなどへの USB-C 接続を使用すると画像が表示されません | ブランク画面 | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの USB-C インターフェイスが DP 代替モードをサポートできるかどうかを確認します。 ・デバイスが 90W 以上の電力を充電する必要があるかどうか確認します。 ・デバイスの USB-C インターフェイスは、DP 代替モードをサポートできません。 ・Windows を投影モードに設定します。 ・USB-C ケーブルが損傷していないことを確認します。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|--|-----------------------------|---|
| コンピューターやノートPCなどへUSB-C接続を使用しているときは充電されません | 充電されません | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスが5V/9V/15V/20V充電プロファイルのいずれかをサポートできるかどうかを確認します。 ・ラップトップに 90W以上の電源アダプターが必要かどうか確認してください。 ・ラップトップに 90W以上の電源アダプターが必要な場合、USB Type-C接続では充電できない場合があります。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USB-Cケーブルが損傷していないことを確認します。 |
| コンピューターやノートPCなどへUSB-C接続を使用しているときは断続的に充電される | 断続的な充電 | <ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの最大消費電力が 90Wを超えていないか確認します。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USB-Cケーブルが損傷していないことを確認します。 |
| USB-C MSTを使用した時に画像が表示されない | 黒画面または第2 DUTはプライムモードではありません | <ul style="list-style-type: none"> ・USB-C入力の場合はOSDメニューに移動してください。ディスプレイ情報にあるリンク速度がHBR2またはHBR3であることを確認します。リンク速度がHBR2の場合、USB-C – DPケーブルを使用してMSTをオンにすることを推奨します。 |
| ネットワーク接続なし | ネットワーク切断または中断 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークに接続中は、電源ボタンのオン・オフを切り替えないで、常にオンに保ってください。 |



| 問題 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|-----------------|-------------------|---|
| LANポートが機能していません | OS設定またはケーブル接続上の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・お使いのコンピューター用の最新のBIOSとドライバがインストールされているか確認してください。 ・WindowsデバイスマネージャーにRealTekギガビットイーサネットコントローラーがインストールされているか確認してください。 ・BIOS設定にLAN/GBE 有効/無効オプションがある場合は、「有効」になっているか確認してください。 ・イーサネットケーブルがモニターとハブ/ルーター/ファイアウォールにしっかりと接続されているか確認してください。 ・イーサネットケーブルのステータスLEDをチェックして、接続を確認してください。LEDが点灯していない場合は、イーサネットケーブルの両端を再度接続してください。 ・最初にコンピューターの電源を切ってから、タイプCケーブルとモニターの電源コードを外してください。次に、コンピューターの電源を入れ、モニターの電源コードとタイプCケーブルを差し込んでください。 |



ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題

| 具体的な症状 | 経験する事項 | 考える解決方法 |
|---|--|--|
| USBインターフェースが機能しない | USB 周辺機器が機能しない | <ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイがオンになっていることか確認します。 ・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。 ・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。 ・モニターの電源を切り、再びオンにします。 ・コンピュータを再起動します。 ・ポータブルハードドライブなどの一部 USB デバイスは、より高い電源を必要とします。ドライブをコンピュータに直接接続してください。 |
| Super speed USB 3.2 Gen 2 インターフェースが遅い。 | Super speed USB 3.2 Gen 2 周辺機器の動作が遅い、またはまったく動作しない | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが USB 3.0 に対応しているか確認します。 ・コンピュータの中には、USB 3.0、USB 2.0、USB 1.1ポートが付いているものもあります。正しい USB ポートが使用されているか確認してください。 ・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。 ・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。 ・コンピュータを再起動します。 |
| USB 3.0 デバイスを接続すると、ワイヤレス USB 周辺機器が機能しなくなる | ワイヤレス USB 周辺機器の応答が遅いか、周辺機器とレシーバーの距離が短くなった場合にのみ機能する | <ul style="list-style-type: none"> ・USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB レシーバーの距離を離します。 ・ワイヤレス USB レシーバーとワイヤレス USB 周辺機器の距離を、できるだけ短くします。 ・USB 延長ケーブルを使用して、ワイヤレス USB レシーバーを USB 3.0ポートからできるだけ離します。 |
| USB が機能しない | USB の機能がない | 入力ソースと USB のペアリング表を参照してください。 |




付録

FCC通知(米国のみ)およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、
https://www.dell.com/regulatory_compliance の規制対応ウェブサイトを参照してください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお問い合わせください。

 **注釈:** 利用できるインターネット接続がない場合、購入時の請求書、梱包票、請求書、または Dell 製品カタログにも連絡先情報が記載されています。

Dell では、複数の方法で、オンラインおよび電話によるサポートとサービスを提供しています。ご利用いただける方法は、国や製品によって異なり、お住まいの地域ではご利用いただけないサービスもあります。

オンライン上のモニターサポートに関するコンテンツについては：

<https://www.dell.com/support/monitors> を参照してください。

販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービス上の問題についてDellにお問い合わせいただく場合は：

1. <https://www.dell.com/support> にアクセスしてください。
2. ページの右下にある国地域選択ドロップダウンメニューでお住まいの国または地域を確認します。
3. 国ドロップダウンメニューの横にあるお問い合わせをクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートへのリンクを選択します。
5. 都合の良い Dell への連絡方法を選択します。

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース

U2723QE: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/955176>

U3223QE: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/955168>

